

奈良はここで

見るところ

奈良県観光キャンペーン

2019年10月～

2020年3月

秋冬版

祈りの回廊

秋萩の散りのまがひに呼び立てて
鳴くなる鹿の声の遙けさ

「湯原王／巻八・一五五〇」

万葉歌の舞台さんぽ
地獄と祈り

「特別講話」檀原神宮・飛鳥寺

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

[訳] 秋萩の散りかう中にまぎれて、妻を呼び立て鳴くらしい鹿の声の遙かなことよ。



万葉歌の舞台さんぽ

元号『令和』の典拠となったことで、ますます注目を集めている『万葉集』。その魅力に触れるには、歌が詠まれた背景を知ることが欠かせません。そこで今回は、奈良県立万葉文化館指導研究員の井上さやか先生に、歌と歌人について語っていただきました。

※歌の表記は『万葉集全訳注原文付』（校注・中西進 発行・講談社）を参考にしました。イラストはイメージです。

文・構成 赤松賢一



井上 さやか さん *profile*

宮崎県生まれ。中京大学非常勤講師、奈良県万葉文化振興財団研究員などを経て、奈良県立万葉文化館指導研究員に。著書に『山部赤人と叙景』『万葉集からみる世界』（新典社）、監修に『マンガで楽しむ古典 万葉集』『マンガはじめて読む 古事記と日本書紀』（ナツメ社）などがある。



三輪山をしかも隠すか
雲だにも情あらなむ
随さふべしや (巻一・二八)

近江国(現滋賀県)への旅路の中で額田王が詠んだ歌。「味酒 三輪の山 あをによし 奈良の山の 山の際に い隠るまで 道の隈 い積るまでに つばらにも 見つ行かむを しばしばも 見放けむ山を 情なく 雲の 隠さふべしや(巻1-17)」の長歌に添えた反歌(※)です。「三輪山を隠さないでほしい。せめて雲だけでも思いやりの心があってほしい」と、飛鳥を離れる気持ちを格調高く歌いあげています。大津京遷都のときの歌ともいわれています。

◆三輪山 (みわやま)

三輪山は古くから神聖視されてきた山。額田王らにとっては、飛鳥京を象徴する存在だったのでしょう。現在西麓には、三輪山そのものをご神体とする大神神社が鎮座します。

MAP P19 図 a-2

※反歌:長歌のあとに添える短歌



天智天皇(668年～672年)の時代を中心に活躍した歌人で、『万葉集』には長歌3首、短歌10首が残っています。彼女が大海人皇子(天武天皇)に向けた「あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る(巻1-20)」(あかね色をおびる、あの紫の野の御料地を行きながら…野の番人は見てはいないでしょうか、あなたが袖をお振りになっている)の歌は、とくに人気が高い万葉歌のひとつです。

中大兄皇子(天智天皇)が大和三山を詠んだ「香具山は 敵火ををしと 耳梨と 相あそひさ…(巻1-13)」の歌などから「天智天皇と天武天皇が取り合った絶世の美女」というイメージが強いですが、実は『万葉集』以外に彼女についての記述は少なく、確実なのは大海人皇子との間に十市皇女をもったことくらい。ただそのミステリアスさが、彼女の魅力を一層高めています。



君待つとわが恋むをれば
わが屋戸のすだれ動かし
秋の風吹く (巻四・四八八)

この歌には「額田王の近江天皇を思ひて作れる歌」という題詞があります。近江天皇は天智天皇のこと。「君を待つとて恋しく思っていると、わが家のすだれを動かして、秋風が吹きます」。なんとも切ない歌で、「額田王は大海人皇子と別れ天智天皇に嫁いだ」という説の根拠の一つとされますが、『日本書紀』にそのような記述は無く、この歌も実際の出来事を歌っているかはわかりません。

◆粟原寺跡 (おおばらでらあと)

粟原寺は桜井市粟原の高台にあった寺院。額田王終焉の地には諸説がありますが、そのひとつに「晩年は臣籍降下しこの寺で余生を過ごした」というものがあります。現在は礎石が残るのみですが、寺跡に立ち上の歌を思うと、一層切なさがかみあげてくるようです。下に紹介する「古に 恋ふらむ鳥は…」の歌碑もあります。

MAP P21 図 a-2

額田王

ぬかたのおおきみ

(生没年不詳)



古に恋ふらむ鳥は 霍公鳥
けだしや鳴きし わが念へる如 (巻二・二二三)

天武天皇の死後、持統天皇の吉野行幸に同行した弓削皇子から額田王のもとに「あの鳴きながら渡っていく鳥は、昔を恋う鳥でしょうか」という歌が届きます。それに答えた額田王の歌がこちら。「あなたが“昔を恋う”という鳥はホトギスでしょう。恐らくは鳴いたでしょう。私が昔を恋しく思うように」。額田王は当時60歳前後。若い弓削皇子に、恋歌をレクチャーしているようにも見えます。

◆宮滝遺跡 (みやたきいせき)

吉野は大津宮を逃れた大海人皇子(天武天皇)が鶴野讀良皇女(うののさららのひめみこ)(持統天皇)とともに隠棲した場所。持統天皇が何度も行幸した吉野宮は、吉野川右岸の宮滝遺跡と推定されています。

MAP P20 図 d-2

大宰府に大宰師(長官)として赴任した旅人が、おそらく宴会の席で、故郷を懐かしみ詠んだ歌。「わすれ草を私は紐に付ける。香具山がある、あの懐かしい故郷を忘れようとして」。旅人が大宰師に就任したのは神亀4年(727)で、平城遷都からは17年が経っていましたが、高齢の旅人としては、平城京よりも藤原京に望郷の念を抱いたようです。この宴会には大宰少貳の小野老も同席していたとみられ、有名な「あをによし 寧楽の京師は 咲く花の 薫ふがごとく 今盛りなり(巻3-328)」の歌を残しています。

◆香具山(かぐやま)

畝傍山(うねびやま)、耳成山(みみなしやま)と合わせて「大和三山」と呼ばれる山です。標高は約152m。上の歌以外にも、持統天皇の「春過ぎて 夏来(なつきた)るらし 白袴(しろたへ)の 衣乾(ころもほ)したり 天の香具山(巻1-28)」など多くの歌に詠まれています。

MAP P19 a-1



わすれ草
わが紐に付く
香具山の
故りにし里を
忘れむがため
(巻三・三三四)

おおとものやかもち

大伴家持

(718年? ~ 785年)

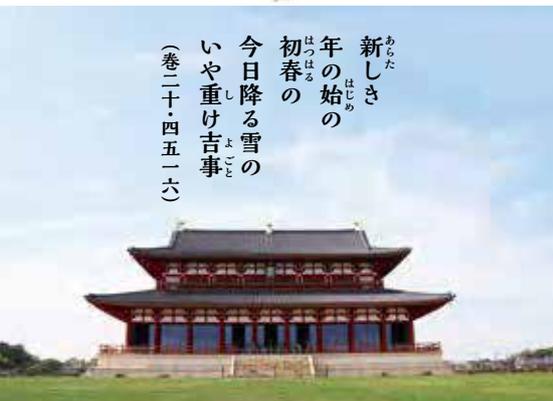


おおとものたびと

大伴旅人

(665年 ~ 731年)

あたら
しき
年の始
初春の
今日降る雪の
いや重け吉事
(巻二十四五一六)



天平宝宇3年(759)、因幡国(現鳥取県)に国守として赴任した家持が、正月の宴で詠んだ歌。「新しい年のはじめの、新春の今日を降りしける雪のように、いっそう重なれ、吉き事よ」。元日の雪は豊年の瑞祥で、新年を寿ぐ歌です。この歌は、『万葉集』に収録された最後の歌でもあります。あるいは現存しただけで続きがあったのかもしれませんが、世界平和を祈るようなこの歌で締めくくるといっても、『万葉集』にふさわしい気がします。

◆平城宮跡(へいじょうきゅうせき)

大伴旅人や家持の時代、日本の政治・文化の中心だった平城京。その宮の一部が復原されています。大極殿や朱雀門などのほか、ガイダンス施設も整備されています。

奈良市佐紀町 ☎ 0742-30-6753(奈良文化財研究所)

MAP P18 a-1

大伴旅人は元号「令和」の出典となった『万葉集』巻五の「梅花の歌三十二首」の序文「…時に、初春の令月にして、気淑く風和ぎ…」(…時あたかも新春の好き月、空気は美しく風はやわらかに…)の作者。『万葉集』に76首を残しています。家持は旅人の子で、『万葉集』で最多となる479首もの歌を残し、編纂に関わったともいわれています。歌人としてのイメージが強い二人ですが、大伴氏といえば、初代神武天皇の時代からの武門の家柄とされていました。旅人は養老4年(720)に征隼人持節大將軍に任ぜられ、九州南部で起こった隼人の反乱の鎮圧にあたり、また家持も延暦3年(784)に持節征東將軍に任ぜられるなど、二人の活躍の記述は史書にも見られます。

これは家持が天平勝宝7年(755)に難波で、防人(※)を迎え、送り出す任にあたった時の歌。「龍田山で見ながら越えてきた桜の花は、散ってしまうだろうか。私が帰らないうちに」。『万葉集』には防人の歌も多く掲載されていますが、そのほとんどはこの時に家持が収集したものです。望郷の思いも感じる歌ですが、意外に家持は、防人たちとの交流を楽しんでいたのかもしれない。

◆龍田大社(たつたたいしゃ)

龍田山の場所ははっきりしませんが、大阪との府県境である三郷町西方の山並みを指すとされます。麓には、風の神様として有名な龍田大社が鎮まります。

生駒郡三郷町立野南1-29-1 ☎ 0745-73-1138

MAP P19 b-2

※防人:九州防備のため徴発された兵士



龍田山見つつ越え来し
散りか過ぎなむわが帰るとに
桜花
(巻二十一・四三九五)



未通女等が袖振山の瑞垣の久しき時ゆ思ひさわれば

(巻四・五〇一)

「おとめが袖を振る、布留山の社の瑞垣が年久しいように、長い年月、ずっと恋いつづけてきたことだ、私は」。布留山は、天理市石上神宮南東の神山といわれています。瑞垣は神域に巡らせた垣のこと。前半は修飾で、歌の主題は最後の二句。しかし“袖を振る”と“布留山”をかけ、言葉を連想ゲームのようにつなげることで、恋心を歌に昇華しています。

◆石上神宮 (いそのかみじんぐう)

石上神宮は初代神武天皇を助けたという神剣・布都御魂大神(ふつのみたまのおおかみ)を祀る、日本最古の神社のひとつ。布留山麓の高台にあり、杉の巨樹が茂る境内には神さびた雰囲気が漂います。

天理市布留町384 ☎0743-62-0900

MAP P19 国 a-1 朝のお参りP14



東方の野の果てに曙光がさしそめる。振り返ると、西の空に低く月が傾いている。前後に掲載された歌から、軽皇子(文武天皇)と阿騎野(現宇陀市大宇陀)に狩りに来た時に詠んだとされます。軽皇子を昇る朝日になぞらえてたえつつ、沈む月に、亡き草壁皇子をしのんでいると考えられています。

人麻呂の代表歌のひとつです。「東方の野の果てに曙光がさしそめる。振り返ると、西の空に低く月が傾いている」。前後に掲載された歌から、軽皇子(文武天皇)と阿騎野(現宇陀市大宇陀)に狩りに来た時に詠んだとされます。軽皇子を昇る朝日になぞらえてたえつつ、沈む月に、亡き草壁皇子をしのんでいると考えられています。

◆かぎろひの丘万葉公園

宇陀川沿いの小高い丘に万葉植物が植栽され、東屋と自然石の歌碑があります。人麻呂がかぎろひを見たとされる旧暦11月17日には、この場所で「かぎろひを観る会」が開かれます。

MAP P21 国 a-2



かきのもとのひとまる

柿本人麻呂

(生没年不詳)

持統天皇(690年~697年)、文武天皇(697年~707年)の時代を中心に活躍した歌人。ただ『日本書紀』に記述は無く、出自や官位なども不明。『小倉百人一首』には人麻呂の歌として「あしひきの山鳥の尾のしだり尾の長し夜を独りかも寝む」(あしひきの山鳥の尾のしだれた尾のように長々とした夜を、一人で寝るのか

なあ)がありますが、この歌は『万葉集』では巻11-2802に「或る本の歌に日はく」という注と共に掲載されていて、実は人麻呂作との確証はありません。ただ『万葉集』を代表する優れた歌人であることは間違いなく、長歌・短歌併せて88首を残し、「柿本人麻呂歌集」と記された歌なども含めると、450首以上が掲載されています。

『万葉集』を知れば、奈良はもっと楽しくなる

現存する日本最古の歌集である『万葉集』。約4500首の歌が収められ、その内900首ほどが、奈良を舞台に詠まれたといわれ…と、このように説明すると、学生時代の勉強を思い出して、敬遠される方も多いのではないでしょうか。しかし『万葉集』には、今の私たちも共感できるような恋の歌や、「西の市にただ独り出でて眼並はず買ひにし絹の商じこりかも(巻7-1264)」という、「一人で買い物に行っ失敗しちゃった」のような楽しい歌もたくさんあります。もちろん深く読めば、買い物失敗に恋を寓意していたりするのですが、そこはいったん忘れて、まずは地元の歌や好みの歌人から、『万葉集』の世界に入ってもらいたいのも良いのではないのでしょうか。

また奈良は古代史の舞台だったこともあり、予備知識があれば、より深く楽しめる場所がたくさんあります。例えば、山部赤人という歌人が「明日香河川淀さらず立つ霧の思ひ過ぐべき恋にあらなくに(巻3-325)」(飛鳥川のよどみに立ちこめている川霧のように、簡単に忘れる慕情ではないのに)という歌を残していて、飛鳥寺境内に歌碑が立っています。何も知らずに飛鳥川を見るより、こんな歌を知ってからだと、一層楽しめそうな気がしませんか？奈良県立万葉文化館では、そのような万葉歌について楽しみながら学んでいただけます。ぜひ一度お越しいただき、奈良の旅を一層実りあるものにしていただければ幸いです。



奈良県立万葉文化館
高市郡明日香村飛鳥10
☎ 0744-54-1850
http://www.manyo.jp/
MAP P19 国 a-2

祈りの回廊 万葉ウォーキング

奈良の歴史・文化・自然を愛する「奈良まほろばソムリエ」がご案内するっておきのウォーキング。
万葉歌ゆかりの地を一緒に歩いて巡りませんか。

● 橿原市

7km

11/30(土) 橿原・藤原宮コース

藤原宮は、7世紀末に飛鳥の北西に造営された藤原京の中心。その跡地は、国の特別史跡として保存されています。宮跡を囲むようにそびえる「大和三山」を望みつつ、周辺に散在する持統天皇や大津皇子らの万葉秀歌の舞台を訪ねます。

- 出発/10時 近鉄大和八木駅前広場(北側)
- 受付/9時30分～10時
- 解散/15時頃 近鉄大福駅
- 申込方法/事前申込(専用メールフォーム)
- 申込期限/11月20日(水)
- 定員/100名(申し込み多数の場合は抽選)
- 参加費/税込1,500円(昼食代、おみやげ代、保険料など)
- 昼食/柿の葉寿司などの弁当

万葉歌碑
8カ所

【コース概要】

近鉄大和八木駅前広場(集合) → 耳成山ふもと(木原古池) → 藤原宮跡(醍醐池、別所池) → 畝尾都多本神社 → 奈良文化財研究所藤原宮跡資料室(構内で昼食) → 天香具山(国見丘、天香山神社) → 南浦町古池 → 磐余池推定地 → 近鉄大福駅(解散)

耳成山



藤原宮跡



● 明日香村

8km

12/14(土) 明日香コース

6世紀末から約100年にわたり、日本の政治・文化の中心となった飛鳥。都が藤原京、平城京へと遷った後も、多くの万葉歌人がこの地を思い、歌を紡ぎました。今も日本の原風景が息づく古の都・飛鳥の地を巡ります。

- 出発/10時 近鉄橿原神宮前駅中央改札前広場
- 受付/9時30分～10時
- 解散/15時30分頃 近鉄飛鳥駅
- 申込方法/事前申込(専用メールフォーム)
- 申込期限/12月4日(水)
- 定員/100名(申し込み多数の場合は抽選)
- 参加費/税込2,000円(昼食代、おみやげ代、保険料など)
- 昼食/古代米を使った明日香野菜たっぷり弁当

万葉歌碑
10カ所

【コース概要】

近鉄橿原神宮前駅中央改札前広場(集合) → 剣池 → 飛鳥寺(外観のみ) → 県立万葉文化館(庭園での寸劇鑑賞と昼食) → 飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡) → 橘寺(外観のみ) → 亀石 → 天武・持統天皇陵 → 鬼の雪隠 → 道の駅飛鳥・近鉄飛鳥駅(解散)

万葉文化館にて「あすか劇団 時空」による寸劇「大化の改新」鑑賞

あすか劇団 時空



飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡)



お申込み専用メールフォーム

<https://inori.jitsugyo.jp/>



参加される方へのご案内

- お申込の際は、専用メールフォームに必須項目をご入力の上、ご希望のコースを選んでお申込みください。
- 飲み物、敷物、雨具等必要と思われるものは、参加者各自でご持参ください。 ※参加費は当日おつりの出ないようにお持ちください。
- 参加者は自己の責任で健康を管理してご参加ください。
- 係員の指示を必ず守り、危険な行動は一切しないでください。
- 道路交通法・交通ルール・マナーを守り、交通事故防止に努めてください。
- 小学生以下のお子様の単独での参加はご遠慮ください。
- 参加の際には、公共交通機関をご利用ください。
- 歩きやすい靴で、ご参加ください。
- 参加決定後、キャンセルされる場合は、**原則として実施日の2日前までに**奈良県観光プロモーション課(0742-27-8482)までご連絡ください。

催行中止基準(以下の場合には催行を中止します)

- イベント当日午前6時時点で、実施市町村に「警報」が発令されている場合。
 - 上記以外であっても、イベント催行中に「警報」が発令される可能性が高い場合。
 - その他参加者の安全が確保できないと判断される場合。
- ※ 当日催行の有無については、開催日の「午前6時20分～受付終了時間」の間に090-9706-6897までお問い合わせください。

主催・
お問い合わせ

奈良県観光局観光プロモーション課 ☎0742-27-8482(直通)

平日 9:00～17:00 ※土日祝日は受け付けておりません

<http://meguru.nara-kankou.or.jp/>

祈りの回廊

検索

【協力】奈良まほろばソムリエの会

地獄と祈り

恐ろしい形相の閻魔王像や、すさまじい責め苦を受ける亡者を描いた地獄絵。寺には、温和な仏様だけでなく、恐ろしい地獄の様子を伝える寺宝が伝わっていることもあります。毎年秋に大地獄絵の絵解きを行っている長岳寺の北川慈照住職は、「地獄絵に描かれた恐ろしい情景は、形を変えて私たちの社会にも存在します」と話します。

長岳寺はハイキングコースとして人気の「山の辺の道」の中ほど、天理市柳本の龍王山麓にある古刹です。四季折々に花が美しい寺ですが、境内の紅葉が見頃となる頃、本堂では安土桃山時代に描かれた大地獄絵が開帳され、土・日曜、祝日には、北川慈照住職による現代風絵解き「閻魔の嘆き」が行われます。恐ろしい地獄絵についての解説ですが、ユーモアたっぷりの北川住職の語り口に、参拝者からは笑い声が絶えません。

仏教では、人は死後、閻魔王をはじめとする十王の裁きを受け、死者は六道（天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道）のいずれかに送られるとされます。中でも、生前に罪を犯した者が送られるのが、畜生道、餓鬼道、地獄道の三悪道（修羅道を含め四悪道とも）。長岳寺の地獄絵図には、すさまじい責め苦を負う亡者の姿が描かれています。北川住職はその一つひとつを説明しながら「この絵図は死後の世界を描いていると同時に、現代社会を告発するものでもあるんです」と話します。「決して満たされることのない物欲は餓鬼道に通じ、互いに分かり合えず、猜疑心にとられる姿は畜生道に通じます。戦争にいたっては、地獄道そのものではないでしょうか」。

もうひとつ、北川住職が注目されるのが、絵図で十王の上に描かれる、如来や菩薩の姿です。「これは、十王の本地（※）を表しています。例えば地獄の支配者である閻魔王の本地仏は地藏菩薩。衆生を救うため、地獄も含めた六道すべてを回っておられる仏様です。救う方と裁く方、相手を思いやる「怒」と、激しい「怒」が同一の存在。そこに、大きな教えが込められているんです」。

地獄絵図の最後には、阿彌陀如来が菩薩と共に往生する人を迎える「来迎図」が描かれています。「絵図に描かれたものは現代社会にもあとと申し上げましたが、この来迎図も例外ではありません。災害が起きた時、手弁当で駆けつけるボランティアの方々がおられる。まさに仏心というべきでしょう」。誰の中にも、地獄の鬼の心も、餓鬼畜生の心も、仏の心もある。地獄絵は我々に、そのことを教えてくれているようです。

※本地：本来の仏・菩薩の姿

まだまだある！
地獄を伝えるお寺



白毫寺 (びやくごうじ)

万葉歌にも詠まれた高円山の麓に立つ古刹。宝蔵には鎌倉時代の閻魔王坐像(重文)、太山王坐像(重文)、司録・司命半伽像(重文)などを安置し、1月16日の閻魔王の縁日には、無病息災や家内安全を祈願する「えんまもうで」が行われます。

奈良市白毫寺町392 ☎ 0742-26-3392

JR・近鉄奈良駅からバス「高畑住宅」下車、徒歩約20分 または「白毫寺」下車、徒歩約10分(便数が少ないので要注意)

MAP P18 A d-2

閻魔王坐像(重文) 写真:白毫寺



矢田寺 (やたでら)

天武天皇2年(673)に勅願により創建。本尊の地藏菩薩立像(重文)は、弘仁年間(810~824)に満米上人が地獄で出会った生身の地藏菩薩の姿を、春日の神が刻んだものと伝わります。拝観できるのは境内のアジサイが見頃となる6月のみ。同時期に閻魔王坐像を安置する閻魔堂も開扉されます。

大和郡山市矢田町3506 ☎ 0743-53-1522

近鉄郡山駅から矢田寺前行きバス終点下車徒歩約5分
<http://www.yatadera.or.jp>

MAP P19 C c-1

地藏菩薩立像(重文) 写真:矢田寺



當麻寺 奥院 (たいまでらおくのいん)

當麻寺は、奈良時代に中将姫が極楽浄土の様子を織り上げたという「當麻曼陀羅」で知られる寺。奥院はその塔頭のひとつで、宝物庫には、六道に悟りの世界である四聖(声聞、縁覚、菩薩、仏)を加えた十界図屏風(重文)や二十五菩薩来迎像などを安置しています。

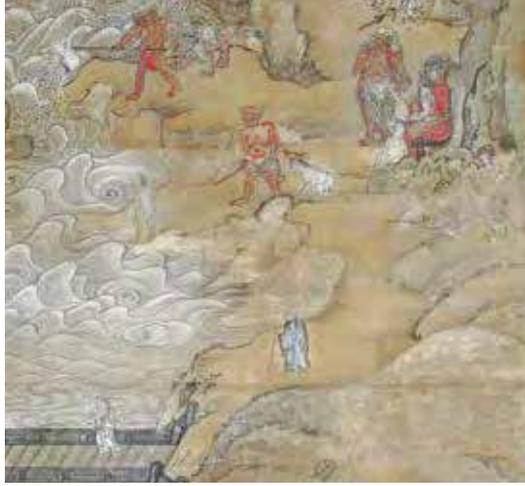
葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2008

近鉄當麻寺駅から徒歩約15分 <http://www.taimadera.or.jp/>

MAP P20 G a-1

特別開帳P16

十界図屏風(重文) 写真:當麻寺 奥院



- 1
- 2
- 3
- 4

- 1 三途の川:冥界と娑婆を分ける川。亡者は上流の激流(山水瀨)、中流(江深淵)、下流の橋(有橋渡)のいずれかを渡る
- 2 閻魔王庁(左):亡者は死後49日の間に、7日毎、計7回の裁判を受ける。閻魔王の裁きは五・七日(いつなぬか/5週目)。上には本地仏が描かれている
- 3 地獄道:六道の中でも最下層の地獄道は、閻魔王が支配する世界。罪人はその罪の重さに応じ、8つの地獄(八大地獄)のいずれかに墮とされる。
- 4 来迎図:阿弥陀如来が多くの菩薩を連れ、三回忌を迎え極楽往生する人を迎える

長岳寺 (ちやうがくじ)



平安時代に弘法大師が創建した寺で、大地獄絵は安土桃山時代に、狩野山楽によって描かれたと伝わります。高さ3.5mの軸9幅からなり、すべて合わせると横幅は11m。開帳は10月23日~11月末のみですが、それ

以外の日も精巧なコピーは拝観できます。絵解き説法「閻魔の嘆き」は開帳期間中の土・日曜、祝日の13時から行われます。

天理市柳本町508 ☎ 0743-66-1051

JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡」下車、徒歩約10分/JR柳本駅から徒歩約20分

<http://www.chogakuji.or.jp/> MAP P19 G a-1

特別開帳P16

北川 慈照 Profile

きたがわじしょう



長岳寺住職。昭和17年長岳寺に生まれ、約20年間の公立学校教員を経て、長岳寺僧侶に。平成2年住職に就任。

『記紀』に記された、日本建国の地に鎮まる

榎原神宮 宮司 久保田 昌孝



久保田 昌孝
東京都生まれ。國學院大學卒業後、1974年より榎原神宮に奉職。
2014年より榎原神宮宮司

榎原神宮があるこの場所は、神武天皇が即位された場所と伝わっています

『日本書紀』などによれば、大和三山のひとつ、畝傍山の麓は、第一代神武天皇が即位された、日本国始まりの地です。神武天皇は九州高千穂宮(現在の宮崎県)から東に向かい、想像を絶する苦難を乗り越えてこの地に至り、榎原宮で即位されました。それが紀元(皇紀)元年、今からおよそ2680年前のことです。榎原神宮は神武天皇と皇后の媛蹈鞰五十鈴媛命をお祀りするため、明治23年(1890)に創建されました。

創建にあたっては、京都御所から内侍所(賢所)と神嘉殿が移築され、本殿・拝殿となりました。その後、昭和15年(1940)に紀元2600年を奉祝して大幅に拡張され、外拝殿の奥に内拝殿、幣殿、本殿(重文)が並び、現在の社殿が整えられました。また、境内南側に広がる深田池には対岸まで遊歩道が整備されており、市民の憩いの場となっています。境

内東側には榎原森林遊苑が広がっていて、北参道途中には畝傍山の登山口もあり、ハイカーの方も多く来られます。

特別な場所でありながら、開かれた神社でもあるのです

当宮がこれほど開かれた場所となったのは、実は戦後からです。戦前までは内務省の管轄で、個人的なことよりも、国家の安寧などを祈願する場所とされてきました。それが、戦後は国の管理を外れることとなり、当時の神職らは神宮の護持のため、皆さんにお参りいただくにはどうすればいいかと、随分工夫を重ねたようです。深田池にボートを浮かべたり、森林遊苑でお子さん向けのイベントを開いたりもしてきました。今の開かれた雰囲気は、その結果だと思っています。

今の境内を見渡しますと、特に深田池一帯は散策を楽しめる方も多く、休日ともなると、小さなお子さんが遊ぶ声も聞こえてにぎやかです。私は、当宮に来ら

れる理由が、「池の鯉が見たいから」でもいいと思うのです。そうしてご家族で楽しんでいただいて、せっかくなからと、帰る前に社殿で手を合わせていただく。そういう経験が、やがて自然と、神様を敬う信仰心に結び付いていくのではないのでしょうか。

元号が令和に改まり、参拝者は増えていくとお聞きしています

確かに2018年の秋ごろから、例年以上の方がお参りに来られていると感じています。改元や御代替わりを機会に、改めて日本国の成り立ちに思いを致す方が増えているということでしょう。

もともと神武天皇が居られた九州高千穂は、地上を高天原同様平和で豊かな国にしたいと願われた天照大神が、天孫の瓊瓊杵尊を使わされた場所です。神武天皇が高千穂から旅立つ決意をなされたのは、瓊瓊杵尊によってもたらされた恩恵を、あまねく国中に広めたいと願われたからでしょう。そう考えれば、今の私たちの国は、天照大神が治められる、高天原の延長にあるといえると思います。

当宮にはいくつか参道がありますが、初めてお越しの際は、ぜひ表参道からお参りください。一の鳥居から長い参道を歩き切った先が、南神門広場。左手の深田池には、お子さんたちが遊ぶ姿も見えます。手水舎で手と口を清め、南神門をくぐると、外拝殿前広場です。社殿越しには、畝傍山も見えます。これほどの広大な境内が、豊かな緑の中に広がっている。建国という偉業を成し遂げられた神武天皇と媛蹈鞰五十鈴媛命をお祀りする社として、ふさわしいものだと思います。

榎原神宮と古代ロマンが眠る地 飛鳥
町・明日香村をめぐる周遊バスを運行いたします。
19, 26, 11/2, 3, 9, 16, 23, 24, 30
https://www.jrtours.co.jp/activities
JR奈良駅 18:00頃着 京都 19:00頃着
6860-1080 受付時間/10:00~18:00(年末年始を除き年中無休)

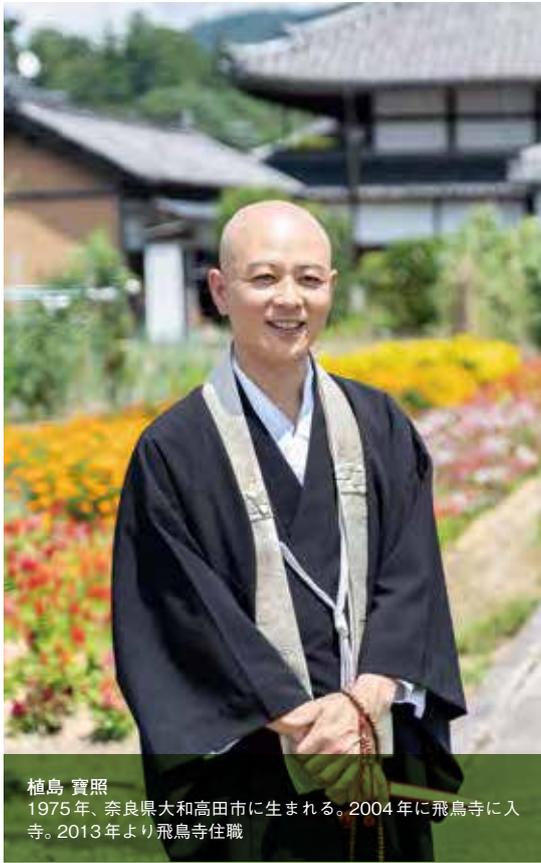
所 榎原市久米町934 0744-22-3271
行 近鉄榎原神宮前駅下車、徒歩約10分
http://www.kashiharajingu.or.jp/
MAP P19 D a-1 写真: 榎原神宮
大嘗祭当日祭 11/14(木)
新天皇が即位して、最初に行われる新嘗祭(いなめさい)。神々に収穫を感謝し御神前に新穀を奉り、五穀豊穰を祈る祭典。(写真は久米舞)

聖徳太子らも手を合わせた日本最初の寺院

あすかであら 飛鳥寺 住職 植島 寶照

特別講話

30



植島 寶照
1975年、奈良県大和高田市に生まれる。2004年に飛鳥寺に入寺。2013年より飛鳥寺住職

「飛鳥寺は日本最初の本格的な寺院といわれています」

当寺は仏教公伝から間もない6世紀末に、古代豪族の蘇我馬子によって創建されました。それ以前から小規模な仏像などはあったといわれますが、本格的な伽藍を備えた寺としては、当寺が日本最初とされます。

現在は江戸時代末期に再建された本堂を中心とするこじんまりとした寺ですが、創建当時は五重塔（三重塔とも）の東・西・北に3つの金堂が立ち、それらを中門から延びる回廊が囲む、巨大な寺院でした。

飛鳥大仏の名で親しまれる本尊の釈迦如来坐像（重文）は7世紀初頭に造立されたもので、こちらも現存する日本最古の仏像といわれています。伽藍は、鎌倉初期の落雷による大火などで失われましたが、この像は飛鳥時代から動くことなく、今も造立時の台座の上に座っております。少し前までは「後世の補修がはなはだしく、造立時の部位は目元や右手

の指の一部などに限られる」とされておりましたが、近年の調査の結果、お顔や右手の大部分は造立当時からのもと考えられております。

「御本尊のお顔が造立時のままとわかつたのは、ごく最近なのです」

この調査が始まったのは、平成24年からです。実は個人的には、信仰の対象である御本尊を科学的に調査することに、違和感もあつたんです。御本尊は飛鳥時代から変わらずここに置かれる、それがすべてです。でも、調査を申し出てこられた早稲田大学の橋本一孝先生（当時）はとても熱心な方で、結局、拝観時間外ならということで、調査していただくことになりました。その結果、創建時とされる部分と後補とされる部分の成分にほとんど差がないことが分かり、さらに平成27、28年にかけての大阪大学藤岡稜先生たちの調査で、お顔や右手の大部分が創建時のものと見られると発表されました。体部は、火災で

溶けた銅を再度使い、補修したと考えられています。

このことは新聞などでも大きく報道され、たくさんの方に関心を持っていただくこととなりました。聖徳太子や推古天皇など、歴史の教科書に登場する方々が、今、私たちの目の前にあるこの大仏さまのお顔を見て、手を合わされた。そう思うと、本で読むだけだった歴史に、現実的な実感がわいてきます。

「歴史を実感できるというのは、大変興味深いことです」

私は、それができることが、飛鳥の魅力だと思っています。当寺の西には、蘇我入鹿の首塚とされる五輪塔が立ち、その向こうには、蘇我氏が邸宅を構えたという甘樫丘が見えます。南にある飛鳥宮跡は、中大兄皇子（後の天智天皇）や中臣鎌足らが蘇我入鹿を討った「乙巳の変」の舞台です。実際に見て回ると、とても狭い範囲に遺跡が集中していることに驚かれます。

飛鳥時代は今から1400年以上も昔のことですから、はっきりしないことも多い。そこには「私はこう考える」という、独自の解釈が入り込む余地があります。私はそこに、古代史の面白さがあるんだと思います。

飛鳥には豊かな自然と、昔ながらの田園風景が広がっています。何気ない風景も、聖徳太子が眺めた景色だと思えば、それだけで特別なものになります。飛鳥に来られる皆さんには、ぜひ想像の翼を広げ、歴史の舞台めぐりを楽しんでいただきたいと思っています。



所 高市郡明日香村大字飛鳥682
☎ 0744-54-2126 行 近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「飛鳥大仏前」下車、徒歩約1分
<https://www.facebook.com/asukadera>
MAP P19 D a-2



釈迦如来坐像（飛鳥大仏）（重文）
約1400年前に、渡来系仏師・鞍作鳥（止利）により造立されたと伝わります。像高は275cm。アーモンド形の目などに、飛鳥仏ならではの特徵がみられます。本堂で拝観できます。

うましうるわし奈良キャンペーン
「うましうるわし奈良」JR東海
「ぶらっと」バスガイド付！
うましうるわし奈良キャンペーン
日帰りだめぐる周遊バスプラン
京都発着（JR奈良駅乗降可）で橿原神宮～今井
2019年9/15(日)、21(土)、22(日)、28(土)、10/5(土)、12(土)、13(日)
料金／おひとり様（大人・小人同額）8,900円（京都・奈良発着）
当コースは当書面からのお申込みは承っておりません。詳しくはJR東海ツアーズホームをご覧ください。右記QRコードよりご確認ください。

京都 9:00発 JR奈良駅 10:00発	館内ガイドの解説付 奈良県立万葉文化館（約60分）	飛鳥寺 （約30分）	今井町 自由昼食
--------------------------------	------------------------------	---------------	-------------

お問合せ先 株式会社ジェイアール東海ツアーズ ぶらっと旅・コールセンター 103-

元興寺

MapA c-2

秋季特別展「瓦仙人の世界」

—考古学者・藤澤一夫コレクションから—

重文など

10/26(土)～11/14(木)

時間 9:00～17:00(受付は～16:30)
 拝観 大人600円、中学生300円、小学生100円

法輪館(収蔵庫)において
 特別展を開催

古瓦研究のパイオニア・藤澤一夫氏が若き日に各地を歩き回って採集された遺物、なかでも古瓦を中心に展示します。10/27(日)13:30～15:00(受付13:00～)は藤澤典彦氏「瓦仙人の考古学(仮)」の特別講演会が開催されます。



境内 写真:奈良市観光協会

【行事】2020.2/3(月) 節分会 柴燈大護摩供

所 奈良市中院町11 ☎0742-23-1377 行 ●近鉄奈良駅から徒歩約12分 ●JR奈良駅から徒歩約20分
<https://gangoji-tera.or.jp/>

春日大社 国宝殿

MapA d-2

①神獣—かわいい、神の使いたち—

②最古の日本刀の世界 安綱・古伯耆展 ①・② 国宝など

19/7(土)～12/13(金)

②前期:12/28(土)～2020.1/26(日)、後期:2/1(土)～3/1(日)

時間 10:00～17:00(受付は～16:30)
 拝観 ①大人500円、高校生以上300円、小学生以上200円 ②大人1000円、高校生以上600円、小学生以上400円

刀剣展では、鬼才・伯耆安綱とその一門の刀が集結

日本刀の最古級の刀匠・安綱一門の国宝・重文に指定される作品が集結する展覧会。さらに、日本刀発祥の地である大和・山城・備前の名刀をあわせて展示し、日本刀成立の謎に迫ります。



②太刀(無銘(古伯耆)伝安綱) 写真:春日大社

所 奈良市春日野町160 ☎0742-22-7788

行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分
<http://www.kasugataisha.or.jp/>

福智院

MapA c-2

宝冠の十一面観音菩薩立像

10/17(木)～10/23(水)、11/1(金)～11/7(木)、
 2020.3/17(火)～3/23(月)

時間 9:00～16:30(受付は～16:00)
 拝観 大人600円、小学生350円

宝冠を被った東洋風の十一面観音像

奈良時代に興福寺の僧・玄昉(げんぼう)が創建した清水寺(しみずでら)が前身。高さ7m弱の本尊・地藏菩薩坐像(重文)は地藏大仏と呼ばれ千仏光背を背負います。伊勢の裏鬼門を守る十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈後、御縁がありお迎えした客仏です。



宝冠十一面観音菩薩立像 写真:(株)飛鳥園

【行事】毎月24日 月護摩日(祈願・供養、数珠くり)

所 奈良市福智院町46 ☎0742-22-1358

行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ
<http://www.fukuchiin-nanto.com/>

興福寺

西国三十三所草創1300年記念

MapA c-2

南円堂・北円堂特別開扉

国宝など

10/17(木)～11/10(日)

時間 9:00～17:00(受付は～16:45)
 拝観 大人1000円、中学生700円、小学生300円(記念品付き)

中金堂を含む天平空間が
 再興された藤原氏の氏寺

西国9番札所・南円堂(重文)では、本尊・不空絹索観音菩薩像と四天王像(ともに国宝)、北円堂(国宝)では運慶晩年の傑作・弥勒如来像(国宝)などが6年ぶりに同時に拝観できます。



北円堂(国宝) 写真:奈良市観光協会

【行事】2020.1/2(木) 春日社参式
 2020.2/3(月) 追儺会(鬼追い式)
 2020.2/15(土) 涅槃会

所 奈良市登大路町48 ☎0742-22-7755

行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
<http://www.kohfukuji.com/>

頭塔

MapA d-2

史跡頭塔、浮彫石仏など

重文

10/26(土)～11/14(木)

時間 9:00～17:00(受付は～16:30)
 協力金 300円

東大寺僧・実忠和尚が築いた
 とされる町中の土塔

頭塔は奈良時代の東大寺僧・実忠和尚(じっちゅうかしょう)が築いたとされる、まちなかの土塔。一辺32m、高さ10mのピラミット形で、あたかも立体曼荼羅のように見えます。



史跡頭塔(重文) 写真:(株)飛鳥園

■各面には、浮彫や線彫で如来三尊像など奈良時代後期の多数の石仏(重文)が刻まれています

所 奈良市高畑町921 ☎0742-27-9866(奈良県文化財保存課)

行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町(わりいしちょう)」下車、徒歩すぐ
<http://www.pref.nara.jp/6709.htm>

五劫院

MapA d-1

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像

重文

2020.2/12(水)～2/18(火)

時間 9:00～15:00(受付は～15:00)
 ※要予約

拝観 志納

果てしなく長い時間を瞑想された
 お姿の仏様を安置する古刹

東大寺の北側に位置する五劫院では、重源上人(ちようげんしょうにん)が宋から請求したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像(重文)が涅槃図と共に特別公開されます。



五劫思惟阿弥陀仏坐像(重文) 写真:五劫院

■「劫」とは非常に長い時間を表し、アフロヘアのような頭髪は衆生を救うために永い間、坐禅・思惟を続けたお姿

所 奈良市北御門町24 ☎0742-22-7694

行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くのみだい)八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

【東大寺 A d-1】①僧形八幡神坐像(国宝)《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像(重文)《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像(重文)《公慶堂》:10/5(土) ※転害寺 ②良弁僧正坐像(国宝)《開山堂》、執金剛神立像(国宝)《法華堂》、重源上人坐像(国宝)、阿弥陀如来立像(重文)、愛染明王坐像(重文)《俊乗堂》:12/16(月) ●良弁忌 *秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます

ふくういん
不空院

MapA d-2

ほんぞん ふくうけんさくかんのん ぼさつざざう
本尊・不空縹索観音菩薩坐像など

重文など

10/17(木)、10/26(土)～11/14(木)

時間 9:00～17:00(受付は～16:30)
拝観 600円

開扉される秘仏・宇賀弁財天女は
五穀豊穡と女人庇護のご利益

鎌倉時代には、不空院・円晴とともに叡尊、
覚盛、有厳ら高僧が戒律を講じた古刹。弘法
大師の足跡(そくせき)もみられることから「福
井之大師」とも呼ばれ、大和北部八十八ヶ所
のお札所としても知られています。

悪い縁を切り新たな良い縁を結ぶ古刹
としても知られます

所 奈良市高畑町 1365 ☎0742-26-2910
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町(わりい
しちょう)」下車、徒歩約10分
http://www.fuku-in.com



不空縹索観音菩薩坐像(重文)
写真:不空院

おびとけてら
帯解寺

MapA d-1

ひぶつ ひほうとくべつこうかい
秘仏・秘宝特別公開

重文など

11/1(金)～11/8(金)、2020.3/10(火)～3/18(水)

時間 9:00～16:30(受付は～16:00)
拝観 大人500円、高校生300円、中学生200円、
小学生100円

皇室や徳川家も信仰した
霊験あらたかな「腹帯地藏」

全国から安産祈願に訪れる人が絶えない古
寺。本尊・帯解子安地藏菩薩(重文)や春日赤
童子画像(奈良市指定文化財)や虚空蔵菩薩
坐像など寺宝が特別公開されます。

[行事] 2020.2/3(月) 節分星祭
2020.3/21(土) 春季水子供養彼岸会法要

所 奈良市今市町 734 ☎0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分 ●近鉄奈良駅から天理
駅、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
http://www.obitokedera.or.jp/



帯解子安地藏菩薩像(重文)
写真:(株)飛鳥園

こうにんじ
弘仁寺

MapA d-1

ひぶつほんぞん こうくうざう ぼさつざう
①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像

②唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財)

11/1(金)～11/30(土)

時間 9:00～16:00(受付は～16:00)
拝観 400円 ※別途志納山料(200円)

嵯峨天皇の勅願で弘法大師が弘仁
5年(814)年開基したといわれる古刹

「高樋(たかひ)の虚空蔵さん」として親しまれ、
13歳になった子供に知恵を授けてもらう十三
参りで有名です。本堂に掛けられている2面の
算額(さんかく)は奈良市指定文化財。

弘法大師の作と伝わる秘仏・虚空蔵菩薩
は智慧や知識、記憶のご利益がある仏様

所 奈良市虚空蔵町 46番地 ☎0742-62-9303 行 ●JR・近鉄奈良駅から天理
駅、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩
約5分 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分 http://www.kouninji.org/



唐草文三足双耳香炉
(奈良市指定文化財)
写真:奈良市教育委員会

ほんにやじ
般若寺

MapA d-1

はくほう ひぶつ しほうとくべつこうかい
白鳳秘仏寺宝特別公開

重文など

9/20(金)～11/11(月)

時間 9:00～16:00(受付は～15:30)
拝観 大人200円、中高生以下100円 ※別途入山料
(大人500円、中高生200円、小学生100円) 必要

「コスモス寺」として知られる
叡尊・忍性菩薩ゆかりの古刹

聖武天皇が平城京の鬼門鎮護のため堂塔を建
立。十三重石宝塔(重文)の軸石から発見され
た白鳳秘仏の数々や寺宝が特別公開されます。

秘仏・阿彌陀如来立像(重文)や同立像の
台座部に納入されていた胎内仏三尊(重文)
などが宝蔵堂で拝観できます

所 奈良市般若寺町 221 ☎0742-22-6287
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くにみだい)
八丁目行きバス「般若寺」下車、徒歩約3分
http://www.hannyaji.com/



阿彌陀如来立像(重文)
写真:般若寺

コスモス 9月中旬～
11月上旬

だいにんじ
大安寺

MapA b-2

ほんぞん じゅういちめんかんのん ぼさつりゅうざう
①本尊・十一面観音菩薩立像

②秘仏・馬頭観音菩薩立像

①・② 重文

10/1(火)～11/30(土) 2020.3/1(日)～3/31(火)

時間 9:00～17:00(受付は～16:00)
拝観 各堂宇共通拝観料 大人500円、
高校生400円、中学生300円、小学生200円

がん封じでも知られる
天平時代を代表する優美な観音様

聖徳太子によって建立された熊凝精舎(くまごりしょ
うじゃ)が草創。飛鳥時代は百濟大寺、大官大寺と呼
ばれ、南都七大寺のひとつとして数えられています。

[行事] 2020.1/23(木) 光仁会(癒封じさき酒祭り)
2020.2/3(月) 節分会(開運星祭り)
2020.3/16(月) 馬頭観音厄除法要(厄除け)

所 奈良市大安寺 2-18-1 ☎0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町(しらつちちょう) 行きバス「大安寺」下車、
徒歩約10分 ●JR奈良駅から徒歩約25分 http://www.daiANJI.or.jp/



十一面観音菩薩立像(重文)
写真:(株)飛鳥園

しょうりやくし
正暦寺

MapA d-1

ひぶつ やくしにょらいいざう
秘仏・薬師如来倚像

重文など

11/3(日祝)～12/1(日)※本堂にて、12/22(日)※瑠璃殿(収蔵庫)にて

時間 9:00～17:00(受付は～16:30)
12月～2月は～16:00(受付は～15:30)
拝観 中学生以上500円、小学生200円

清酒発祥の地・清澄の里に佇む古刹

透き通るような清流、古来より紅葉の鮮
やかさから「錦の里」と呼ばれてきまし
た。白鳳時代の秘仏である本尊・薬師如
来倚像(重文)や寺宝が特別公開されます。

[行事] 2020.1/11(土) 菩提飯(ぼだいもと) 清酒祭
2020.3/9(月) 人形供養

所 奈良市菩提山町 157 ☎0742-62-9569
行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●11/9(土)
～12/1(日)はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行(詳
細は奈良交通へお問合せください) ●JR・近鉄天理駅
からタクシー約20分 http://shoryakuji.jp/



薬師如来倚像(重文) 写真:正暦寺

紅葉 11月中旬～12月上旬

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観:9/20(金)～9/26(木)※要予約、2020.3/17(火)～3/23(月)※要予約 ②涅槃図拝観:2020.2/1(土)～2/15(土)※要予約
【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩:2020.2/9(日)※初午、3/4(水)※二の午 【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏二歳像と地藏菩薩立像納入品:2020.3/12(木)

法華寺

MapA b-1

① 十一面観音菩薩立像 ①・② 国宝など

② 絹本着色阿弥陀三尊および童子像(慈光殿)

①10/25(金)~11/14(木)、2020.3/20(金・祝)~4/7(火)

②10/25(金)~11/14(木)

時間 9:00 ~ 17:00 (受付は~ 16:30)

拝観 各堂宇・庭園等共通 高校生以上 1000 円、中学生 800 円、小学生 400 円

光明皇后のお姿を写した十一面観音立像
光明皇后が、父・藤原不比等(ふじわらのふひと)邸宅を皇后宮とした後、総国分尼寺として創建されました。

[行事]2020.3/1(日) ~ 3/14(土)古代ひな人形展、通年公開 維摩居士(ゆいまこじ)坐像(国宝)、文殊菩薩騎獅像

所 奈良市法華寺町882 ☎0742-33-2261

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅、航空自衛隊行きバス または 近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分 <http://www.hokkeji-nara.jp/>



②阿弥陀三尊及び童子像のうち
の阿弥陀如来像(国宝)
写真:(株)飛鳥園



12月~3月



2月中旬~3月

海龍王寺

MapA b-1

十一面観音菩薩立像、寺宝展

重文など

10/25(金)~11/14(木)、2020.3/23(月)~4/7(火)

時間 9:00 ~ 17:00 (受付は~ 16:50)

拝観 大人600円、中高生300円、小学生100円

光明皇后が自ら刻まれた像をもとに
造られた金泥の十一面観音菩薩立像

遣唐使として唐へ渡った僧・玄昉(げんぼう)が同寺の初代住持となり「平城宮内道場」と定め、遣唐使の航海安全祈願の寺として栄えました。現在も旅行や留学に赴く方々の信仰を集めています。

[行事]11/2(土)・11/3(日・祝)布薩(ふさつ)の行法

所 奈良市法華寺町897 ☎0742-33-5765

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分 <http://www.kairyuuji.jp/>



十一面観音菩薩立像(重文)
写真:(株)飛鳥園



3月中旬~
4月中旬

薬師寺

MapA a-2

① 西塔初層内陣 釈迦四相像 特別公開 重文など

② 食堂特別公開

③ 玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿 特別公開

④ 吉祥天女画像特別公開(国宝・平成の吉祥天) 国宝

①②③9/16(月・祝)~11/30(土)、2020.1/1(水・祝)~1/8(水)、3/1(日)~6/30(火)

④2020.1/1(水・祝)~1/3(金)[国宝] 1/4(土)~1/15(水)[平成の吉祥天]

時間 8:30 ~ 17:00 (受付は~ 16:30)

拝観 ①②各500円 ※別途通常拝観料必要 白鳳伽藍・玄奘三蔵院共通 大人1100円、中高生700円、小学生300円(12/1~12/31は大人800円、中高生500円、小学生200円)

天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈願して建立

西塔初層内陣の釈迦四相像や、食堂では田淵俊夫画伯が手掛けたご本尊・阿弥陀三尊浄土図を中心とした全長50mにわたる14面の壁画が特別公開されます。玄奘三蔵院伽藍では、平山郁夫画伯が描いた玄奘三蔵求法の旅をたどる「大唐西域壁画」が拝観できます。また、天平美人の面影を伝える吉祥天女画像(国宝)は、麻布に描かれた日本最古の彩色画です。2020年4月の東塔(国宝)落慶を記念して様々なイベントが開催されます。

[行事]10/8(火)天武忌・万燈会、2020.2/28(金)~4/19(日)国宝東塔大修理工落慶記念 薬師寺展(あべのハルカス美術館にて開催)、3/25(水)~3/31(火)修二会花会式



② 食堂ご本尊・阿弥陀三尊浄土図 写真:薬師寺



④ 吉祥天女画像(国宝) 写真:(株)飛鳥園

所 奈良市西ノ京町457 ☎0742-33-6001

行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ <http://www.nara-yakushiji.com/>



9月中旬~10月中旬

不退寺

MapA b-1

在原業平朝臣画像、寺宝特別展

10/1(火)~11/30(土)、2020.3/1(日)~5/31(日)

時間 9:00 ~ 17:00 (受付は~ 16:50)

拝観 大人600円、中高生400円、小学生300円

四季折々の花が彩る在原業平ゆかりの古刹

開基である在原業平が自作の仏像・聖観音菩薩立像(重文)を安置した場所という由緒から、「業平寺」とも呼ばれます。サザンカなど四季折々の花が咲き誇る花の寺です。六歌仙のひとりでもある在原業平朝臣画像や寺宝の数々が特別公開されます。

[行事]2020.2/15(土)涅槃会

所 奈良市法蓮町517 ☎0742-22-5278

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分 <http://www.3kcn.ne.jp/~futaiji/>



在原業平朝臣画像
写真:永野鹿鳴荘



11月下旬



~11月下旬



10月~4月

喜光寺

MapA a-2

弁天堂神影 宇賀神(秘仏)

2020.1/1(水・祝)~1/15(水)

時間 9:00 ~ 16:30 (受付は~ 16:00) 拝観 高校生以上500円、中学生以下300円

「試みの大仏殿」と呼ばれる本堂、
行基菩薩創建の名刹

奈良時代に行基菩薩が創建した古刹。宇賀神像はとぐろを巻いた蛇が鎌首を持ち上げ、長い鬚をたくわえた老人の顔を持つ神秘的な姿。祈願して幸福を願う人には、多くの霊験を賜るとされます。

[行事]毎月2日 喜光寺縁日(法要と法話とお写経の会)、2020.3/2(月)行基會大祭

所 奈良市菅原町508 ☎0742-45-4630

行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●大和西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅から学園前駅(南)行きバス「阪奈菅原」下車すぐ <http://www.kikouji.com/>



宇賀神像 写真:喜光寺

【唐招提寺 A a-2】金龜舍利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》:10/21(月)~10/23(水)

東鳴川観音講(応現寺)

MapB a-2

不空縹索観音菩薩坐像 **重文**

毎月第一日曜日

時間 9:00 ~ 16:00

拝観 志納

奈良市東部の東鳴川町に伝わる諸尊を守る観音講。不空縹索観音菩薩坐像(重文)は、行基開基の鳴川千坊(なるかわせんぼう)の一つだった善根寺(ぜんこんじ)から応現寺に移されたといわれます。興福寺南円堂が焼失する以前の本尊を模したとされる平安時代後期造像の貴重な御仏。一面三目八臂(はっぴ)の姿で、両肩にまとうのは鹿皮の衣を表しています。



不空縹索観音菩薩坐像(重文) 写真:奈良市教育委員会

所 奈良市東鳴川町31 応現寺
☎ 0742-34-5369 (奈良市教育委員会文化財課)
行 JR・近鉄奈良駅から下狹川または 広岡行きバス「東鳴川」下車、徒歩約5分

西大寺

MapA a-1

愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開 **重文など**

10/25(金)~11/15(金)、2020.1/15(水)~2/4(火)

時間 9:00 ~ 16:30 (受付は~16:00)
拝観 中学生以上 300円、小学生 200円
愛染堂・聚宝館とも同額(別途必要)

西の大寺として建立され、名僧・叡尊により復興された古刹

称徳天皇の勅願により建立され、鎌倉時代に名僧・叡尊(えいそん)上人により再興された南都七大寺のひとつ。多数の尊像・宝物が安置されている聚宝館が特別公開されます。



愛染明王坐像(重文)写真:(株)飛鳥園

[行事] 10/3(木) ~ 10/5(土) 光明真言土砂加持大法会
10/13(日)、2020.1/15(水) 大茶盛式
2020.2/3(月) 節分星祭祈願会

所 奈良市西大寺芝町1-1-5 ☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和と西大寺駅から徒歩約3分 http://saidaiji.or.jp/

萩 9月下旬~10月上旬

浄瑠璃寺

MapB a-2

①秘仏・吉祥天女立像 ②三重塔初層開扉・薬師如来坐像 ③大日如来坐像など(灌頂堂) **重文** **国宝**

①10/1(火)~11/30(土)、2020.1/1(水・祝)~1/15(水)
②毎月8日、10/26(土)~11/4(月・振)、2020.1/1(水・祝)~1/3(金)、1/8(水)~1/10(金)※ただし好天の日に限る ③2020.1/8(水)~1/10(金)

①※2020.3/21(土)~5/20(水)も特別開扉
時間 9:00~17:00 (受付は~16:30) ※12~2月は10:00~16:00 拝観 ①中学生以上400円②参拝自由③中学生以上300円

幸福の女神・厨子入木造吉祥天立像
境内は平安時代の浄土式庭園を中心とし、三重塔(国宝)に薬師如来坐像(重文)を安置しています。
本堂(国宝)の九体阿弥陀如来像(国宝)は、5年計画で順次修理・修復されています



①吉祥天女像(重文) 写真:(株)飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町西小札場40
☎ 0774-76-2390 行 JR・近鉄奈良駅から浄瑠璃寺行きバス「浄瑠璃寺」下車 または JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前」下車、徒歩約3分

紅葉 11月上旬~11月下旬

海住山寺

MapB a-1

五重塔特別開扉、寺宝特別公開 **国宝**

10/26(土)~11/10(日)※荒天時は塔開扉中止の場合あり

時間 9:00~16:30 (受付は~16:00)
拝観 大人 700円、中高生 400円

解脱上人貞慶中興の名刹

五重塔(国宝)内陣は厨子風造りで華麗な彩色で天部像などが描かれています。奥の院十一面観音菩薩立像(重文)や四天王立像(重文)、本防庭園(江戸時代)など特別公開されます。

[行事] 10/18(金)~10/20(日) 夜間拝観
※10/20(日) 五重塔・境内ライトアップ
2020.2/3(月) 節分星祭祈禱

所 京都府木津川市加茂町御幣海住山20
☎ 0774-76-2256 行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分(※バスは平日のみ運行)
●JR加茂駅西口から和東町小杉行きバス「岡崎(加茂)」下車、徒歩約30分 ●JR加茂駅からタクシー約10分
http://www.kaijyusenji.jp/



五重塔(国宝) 写真:(株)飛鳥園

紅葉 11月中旬~11月下旬

松尾寺

MapC c-1

①秋の寺宝展(舎人親王像など) ②秘仏本尊・厄除観音(厄除千手千眼観世音菩薩立像) **重文**

①~11/10(日) ②11/3(日・祝)

時間 9:00 ~ 16:00 (受付は~16:00)
拝観 300円 ※宝蔵殿、本堂各 300円

舎人親王開基、日本最古の厄除霊場
日本書紀編纂、松尾寺創建日本唯一の舎人親王像などが特別公開されます。

[行事] 2020.1/1(水・祝)~1/31(金) 初詣・厄除開運祈願祭、松尾山七福神祭、2020.2/3(月)・2/4(火) 節分・立春厄除祭、松尾山七福神祭、2020.2/9(日)はつづま、2020.3/4(水) 初午

所 大和郡山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
行 ●JR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバス、または 近鉄郡山駅から小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約30分 ●JR大和小泉駅から徒歩約60分
http://www.matsuodera.com/



①舎人親王像 写真:松尾寺

岩船寺

MapB a-2

①秘宝秘仏特別公開 ②三重塔初層特別開扉 **重文**

①10/1(火)~11/30(土) ②10・11月の毎週土日祝※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり

時間 8:30~17:00 (受付は~16:45)
※12~2月は9:00~16:00 (受付は~15:45)
拝観 大人 500円、中高生 400円、小学生 200円

紅葉に彩られた三重塔が美しい古刹
秘仏である如意輪観音、弁財天、羅刹天、両界曼荼羅や岩船寺縁起(木津川市重要文化財)などの秘宝が特別に公開されます。また、三重塔(重文)初層が特別開扉され、色彩鮮やかな内部壁画などを拝観できます。

[行事] 11/29(金)~12/1(日) 17:30~20:30 夜間特別拝観とライトアップ

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43
☎ 0774-76-3390 行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ ※JR・近鉄奈良駅から浄瑠璃寺行きバス終点で乗継可能 http://gansenji.or.jp/



三重塔(重文) 写真:(株)飛鳥園

紅葉 11月中旬~12月上旬

[現光寺 MapA a-1] 本尊・十一面観音坐像(重文): 10/27(日)、11/2(土)~11/4(月・振)

法輪寺

Map C-2

秋季特別展「江戸期の法輪寺」

重文など

11/1(金)～11/7(木)

時間 8:00～17:00(受付は～16:50)

拝観 大人600円、中高生500円、小学生200円

優美な三重塔が三井の里に映える古刹

法輪寺は聖徳太子のご病氣平癒を願って子・山背大兄王らが創建した古刹で、飛鳥や平安時代の仏像を多く伝えています。今回の特別展は、舍利容器とその縁起絵巻(共に重文)、涅槃図、豊臣秀吉書状等、江戸時代の書画を中心に通常非公開の寺宝を拝観できます。

[行事] 毎月15日 妙見護摩祈祷、2020.2/3(月) 星祭り

所 生駒郡斑鳩町三井 1570 ☎0745-75-2686

行 JR・近鉄王寺駅から国道横田行きバス または 近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「中宮寺前」下車、徒歩約15分
http://www1.kcn.ne.jp/~horinji/



三重塔写真：(株) 飛鳥園

中宮寺

Map C-2

中宮寺新殿「鳩和殿」

濱野年宏制作「聖徳太子絵伝」四季図大屏風

10/26(土)～11/4(月・振)

時間 9:30～15:30 ※最終日は～15:00 中宮寺本堂は9:00～16:00

拝観 高校生以上500円、中学生以下無料

※別途入山料(大人600円、中学生450円、小学生300円) 必要

聖徳太子ゆかりの尼寺

聖徳太子が母・穴穂部間人皇后(あなほべはしひとこうごう)のために創建した大和三門跡尼寺の一つ。通常非公開の鳩和殿にて濱野年宏画伯制作の「聖徳太子絵伝」四季図大屏風、掛軸「如意輪観世音菩薩キリク像」、襖絵、障壁画などが特別公開されます。



鳩和殿室内 写真：中宮寺

所 生駒郡斑鳩町法隆寺北1-1-2 ☎0745-75-2106

行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス「中宮寺前」下車、徒歩約5分 ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「中宮寺前」下車、徒歩約5分
http://www.chuguji.jp/

法隆寺

Map C-2

①法隆寺秘宝展 ②夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 ③上御堂(釈迦三尊像)

①・②・③

国宝など

①9/22(日)～11/30(土)、2020.3/20(金・祝)～5/31(日) ②10/22(火・祝)～11/22(金) ③11/1(金)～11/3(日・祝)

時間 ①9:00～16:30(受付～16:00)

②③8:00～17:00(11/4より8:00～16:30)

拝観 ①大宝蔵殿拝観料 中学生以上500円、小学生250円 ※別途東・西院伽藍共通

②③東院伽藍・西院伽藍共通 中学生以上1500円、小学生750円

聖徳太子建立の名刹は貴重な仏教文化の宝庫

聖徳太子の教えといにしへのたたずまいを今に伝える、世界文化遺産の寺院。通常は拝観できない秘宝の数々の一部が、大宝蔵殿で展示替えを行い特別公開されます。東院伽藍の夢殿秘仏・救世観音菩薩立像(国宝)も定期特別開扉。上御堂(かみのみどう)(重文)の内陣諸仏(国宝・重文など)も拝観できます。

[行事] 10/8(火) 西門堂奉納鏡奉納大般若経転読法要

11/13(水) 慈恩会、11/15(金) 勝鬘会

太子道をたずねる集い: 11/22(金) 明日香ルート、2020.2/22(土) 磯長ルート

2020.2/3(月) 追儺式(鬼追い式)、2020.3/22(日)～3/24(火) お会式(聖徳太子撮政像開扉)

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎0745-75-2555

行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
http://www.horyuji.or.jp/



② 夢殿本尊・観音菩薩立像(救世観音)(国宝) 写真：(株) 飛鳥園



③ 上御堂(重文)・釈迦三尊像(国宝) 写真：(株) 飛鳥園

朝護孫子寺

Map C-a-2

①信貴山縁起絵巻特別公開「尼公の巻」

① 国宝

②毘沙門天王(中秘仏)

①10/26(土)～11/10(日)

②2020.1/1(水・祝)～1/13(月・祝)、2/1(土)～2/29(土)

時間 ①②9:00～16:00(②受付は～16:00 御祈禱中は不可)

拝観 ①高校生以上400円、小中生250円 ②500円(お札授与)

聖徳太子建立・毘沙門天王の総本山

信貴山中興の命蓮上人(みょうれんしやうにん)の靈験を絵巻にした信貴山縁起絵巻(国宝)全3巻のうち、「尼公の巻」が霊宝館で特別公開されます。

[行事] 2020.2/3(月) 星祭法要、節分大法要鬼追式(豆まき)

2020.2/22(土)・2/23(日・祝) 信貴山寅まつり

所 生駒郡平群町信貴山2280-1 ☎0745-72-2277(本坊)

行 JR・近鉄王寺駅 または 近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
http://www.sigisan.or.jp/



●信貴山縁起絵巻(尼公の巻、部分)(国宝) 写真：朝護孫子寺



朝のお参り・朝の勤行

一般参拝いただける朝のお参りと勤行をご紹介します。心に響く癒しのひとときをご体感下さい。

※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せください。

春日大社 P10 Map A d-2 ☎0742-22-7788

朝のお参り(朝拝)

※春日大社公式ホームページで日程公開

興善寺 P11 Map A c-2 ☎0742-23-7007

朝の勤行 ※要予約

十輪院 Map A c-2 ☎0742-26-6635

朝の勤行・体験作務

※月曜休、予約不要

朝食会(朝カレーをいただく会)

※毎月第1日曜(1,8月は休み)、朝の勤行参加の方のみ 詳しくはホームページを参照

蔵王堂 朝座勤行

※御開帳期間のみ有料

長谷寺 P17 Map A a-1 ☎0744-47-7001

朝の勤行

※団体の場合は要予約

朝の勤行 写真：十輪院

朝の勤行 写真：十輪院

【吉田寺 C-2】多宝塔(重文) 初層・大日如来坐像：9/1(日) ※放生会・9/2(月) ※追悼会、11/1(金)～11/4(月・振)

【慈光院 C-1】本堂天井鳴き籠：2020.1/1(水・祝)～1/3(金)

橋 寺

MapD a-2

聖倉殿(収蔵庫)特別公開

重文など

10/5(土)~11/4(月・振)

時間 ① 9:00~17:00(受付は~16:30) ② 9:00~15:30
 拝観 大人350円、中高生300円、小学生150円

のどかな田園風景の中にたつ
 聖徳太子建立7寺のひとつ

聖徳太子生誕の地といわれ、太子自身が創建とされます。本堂の太子殿には、聖徳太子35歳の像(重文)が安置されています。宝物殿である聖倉殿(しょうそうでん)にて、伝・日羅立像(重文)や地藏菩薩立像(重文)などの寺宝が特別公開されます。



伝・日羅立像(重文)
 写真:(株)飛鳥園

【行事】10/20(日) 秋季聖徳太子御会式
 2020.2/3(月) 星祭(節分)

所 高市郡明日香村橋532 ☎0744-54-2026

行 近鉄飛鳥駅または近鉄檀原神宮前駅から徒歩約3分
 バス「岡橋本」または「川原」下車、いずれも徒歩約3分
<http://tachibanadera-asuka.jimdo.com/>

おふさ観音

MapD a-1

秘宝・生き人形

10/19(土)~11/30(土)

時間 9:00~16:00(受付は~16:00)
 拝観 境内は入場無料 本堂拝観希望者のみ300円

花いっぱい七福神霊場

庶民信仰が厚く「花まんだらの寺」とも呼ばれ、秋のバラまつり期間中は、本堂内にて天才人形師・安本亀八作の「生き人形」が特別公開されます。

【行事】

10/19(土)~11/30(土) 秋のバラまつり
 2020.2/3(月) 節分厄除け星祭

所 檀原市小房町6-22 ☎0744-22-2212

行 ●近鉄大和八木駅から徒歩約25分 近鉄御所駅行きバス「小房(おふさ)」下車、徒歩約5分
 ●近鉄大和八木駅から徒歩約25分 または タクシー約10分 ●JR畝傍駅から徒歩約10分
<http://www.ofusa.jp/>



バラまつり 写真:おふさ観音



10月中旬~11月下旬

岡 寺

西国三十三所草創1300年記念

MapD b-2

①本堂内々陣お扉特別開扉

②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開

① 重文

①10/12(土)~12/1(日) ②10/20(日)

時間 ① 8:00~17:00(受付は~16:30) (12月より8:00~16:30/受付は~16:00) ② 9:00~15:30
 拝観 大人400円、高校生300円、中学生200円、小学生以下無料

西国第7番札所のやくよけ霊場

日本三大仏のひとつである本尊・如意輪観音坐像(重文)は、塑像(土でできた仏像)としては日本最大。脇にある扉が開帳され、間近から全身を拝むことができます。



①塑造 如意輪観音坐像(重文)
 写真:岡寺

【行事】2020.2/9(日)、3/4(水) 開運厄除護摩供大般若法要

所 高市郡明日香村岡806 ☎0744-54-2007 行 近鉄飛鳥駅または近鉄檀原神宮前駅から徒歩約10分
<http://www.okadera3307.com/>



11月中旬~12月中旬

談山神社

MapD b-2

①秋の社宝特別展「ザ・カマタリ！」

②新春特別公開

① 重文など

①10/13(日)~12/8(日) ②2020.1/1(水・祝)~2/29(土)(予定)

時間 8:30~17:00(受付は~16:30)
 拝観 中学生以上600円、小学生300円

大化の改新の功臣・藤原鎌足を祀る神社

日本唯一の木造十三重塔が暁として建つ神社。中大兄皇子と鎌足公が国家改新を談合した「談い山」が社号の起源であり、紅葉の名所としても有名です。神社に所蔵されている社宝が特別公開されます。

【行事】10/13(日) 嘉吉祭

11/3(日・祝) けりまつり祭、11/17(日) 例大祭



十三重塔(重文) 写真:談山神社

所 桜井市多武峰319 ☎0744-49-0001

行 JR・近鉄桜井駅から徒歩約3分 徒歩約3分
<http://www.tanzan.or.jp/>



11月中旬~12月上旬

壺阪寺(南法華寺)

西国三十三所草創1300年記念

MapD a-2

①大眼鏡奉納 ②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝

③納め観音 秘仏・子島荒神像

①10/1(火)~12/18(水) ②10/12(土)~12/1(日) ③12/18(水)

時間 ①② 8:30~17:00(受付は~16:30) ③ 13:30~
 拝観 ①② 無料 ※入山料(大人600円、高校生以下100円、5歳以下無料)必要 ③ 500円 ※別途入山料必要

「壺坂霊験記」で知られ眼病封じの古刹

西国三十三所観音霊場の第6番札所。本尊・十一面千手観音は眼病に霊験あらたかな仏様。大眼鏡奉納は、大眼鏡をくぐり、眼鏡に感謝し、諸願成就を祈念いただけます。秘仏・子島荒神像が特別公開されます。



本尊・十一面千手観音菩薩坐像

【行事】2020.1/11(土)~2/4(火) 本尊御前立秘仏厄除観音御開帳、2020.2/3(月) 節分会

所 高市郡高取町壺阪3 ☎0744-52-2016

行 近鉄壺阪山駅から徒歩5分 徒歩約3分 徒歩約3分
<http://www.tsubosaka1300.or.jp/>



11月中旬~12月中旬

聖林寺

MapD b-1

①秘宝・マンダラ展

②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天

①11/1(金)~11/30(土) ②2020.1/1(水・祝)~1/3(金)

時間 9:00~16:30(受付は~16:00)
 拝観 ① 中学生以上500円、小学生250円
 ② 中学生以上400円、小学生200円

安産と子授けの地藏を祀る古刹

天平時代を代表する威厳に満ちた十一面観音菩薩立像(国宝)を安置。通常非公開の浄土曼荼羅など寺宝のマンダラ・仏画約15点を展示します。

【行事】毎月18日 写経の会(11・12月を除く)

※3日前までに要予約、9/23(月・祝) 秋彼岸法要
 2020.3/20(金・祝) 春彼岸法要

所 桜井市下692 ☎0744-43-0005

行 ●JR・近鉄桜井駅から徒歩5分 徒歩約3分 ●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
<http://www.shorinji-temple.jp/>



①浄土曼荼羅 写真:聖林寺



11月~2月

長岳寺

Map a-1

大地獄絵開帳

10/23(水)～11/30(土)

時間 9:00～17:00 (受付は～17:00)
拝観 大人400円、高大生350円、中学生300円、小学生250円

凄まじい三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵

日本最古の鐘楼門が伝わる古刹。総幅11mに及ぶ、全9幅の狩野山楽筆・大地獄絵(極楽地獄絵図、奈良県指定文化財)が特別公開されます。

期間中、住職による絵解き説法有り(土日祝日は13:00頃～、平日は要問合せ)

所 天理市柳本町508 ☎0743-66-1051
行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡(かみなんか)」下車、徒歩約10分
●JR柳本駅から徒歩約20分
http://www.chogakuji.or.jp/



大地獄絵・大焦熱地獄【部分】 写真:長岳寺



安倍文殊院

Map a-2

金閣浮御堂霊宝館 寺宝展

国宝など

秋:9/1(日)～11/30(土)、冬:12/1(日)～2020.2/29(土)

時間 9:00～17:00 (受付は～16:40)
拝観 霊宝館・本堂それぞれ中学生以上700円、小学生500円
※2カ所共通拝観券(1200円)あり ※その他詳細は要問い合わせ

安倍晴明、仲磨呂を祀る

寺宝展に加え、境内の金閣浮御堂霊宝館において、厄除け七まいりの後、内陣の霊宝館を参拝できます。

【行事】9/13(金) 安倍仲麻呂観月祭
2020.2/3(月) 節分銭ぶつけ厄払い法要
2020.3/25(水)・3/26(木) 文殊お会式

所 桜井市阿部645 ☎0744-43-0002
行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ
●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分 または タクシー約5分
http://www.abemonjiuin.or.jp/



本堂 写真:安倍文殊院



當麻寺 西南院

Map a-1

西南院本堂特別開帳

重文など

11/22(金)～12/1(日)

時間 9:00～17:00 (受付は～16:30)
拝観 中学生以上400円、小学生200円

美しい庭園と慈悲深い観音菩薩様を拝する

関西花の寺二十五カ所の第21番。西塔(国宝)を借景とする庭園が素晴らしく、水琴窟や紅葉の美しさでも知られます。十一面観音立像(重文)などが特別公開されます。

本尊・十一面観音立像(重文)は一言の観音とも言い、万病消滅・富貴自在の仏様

所 葛城市當麻1263 ☎0745-48-2202
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
http://www.taimadera.or.jp/



三観音(重文) 写真:當麻寺 西南院



靈山寺

Map b-2

薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展

三重塔初層特別開扉

1・2 重文

110/23(水)～11/10(日)、2020.1/1(水・祝)～1/3(金) ※正月は薬師三尊像のみ
211/3(日・祝)

時間 本堂 10:00～16:00 ばら庭園 8:00～17:00
拝観 高校生以上600円、小中生300円 ※別途、本堂入堂料200円(小中生100円)必要

美しいバラ園を有する行基菩薩創建の古刹

聖武天皇の勅願で行基が建立。1200坪のバラ園では世界各国の色とりどりのバラが咲き誇ります。

【行事】11/3(日・祝) 菩提傳那納経会
2020.1/1(水・祝)～1/3(金) 初福茶
2020.2/3(月) 節分星祭法会

所 奈良市中町3879 ☎0742-45-0081
行 ●近鉄富雄駅から若草台行きバス「靈山寺」下車、徒歩約1分
●近鉄富雄駅から徒歩約30分 または タクシー約8分
http://www.ryosenji.jp/



十一面観音菩薩立像(重文) 写真:(株)飛鳥園



當麻寺 奥院

Map a-1

綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 大方丈

襖絵特別公開 本尊・法然上人坐像 重文など

111/1(金)～11/10(日) 211/16(土)～12/1(日)

32020.2/24(月・振)

時間 ①9:00～17:00 (受付は～16:30)
②9:00～16:30 (受付は～16:00)
③11:00～16:00

拝観 中学生以上500円、小学生250円

浄土信仰と當麻曼陀羅のお寺

浄土宗総本山知恩院の「奥之院」として建立。境内には極楽浄土をイメージした美しい浄土庭園が広がります。

期間中は、綴織當麻曼陀羅 絵説き法話を聞くことができます(要予約)

所 葛城市當麻1263 ☎0745-48-2008
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
http://www.taimadera.or.jp/



平成本・當麻曼陀羅(部分) 写真:當麻寺 奥院



當麻寺 中之坊

Map a-1

秋の寺宝展「大原の画仙」小松均 没30年特別展示

布袋尊百童子屏風 導き観音(平安時代・重要美術品)

110/10(木)～11/30(土) 22020.1/1(水・祝)～2/29(土)

3毎月16日

時間 ①29:00～17:00 (受付は～16:30)
②13:30～15:00 ※祈願会参加者
拝観 中学生以上500円、小学生250円

中将姫を二上山の麓に導いた導き観音の祈願所

写佛道場の絵天井が見事な中之坊。霊宝殿では、文化功労者・小松均画伯の初公開作品を含む没30年特別展示が行われます。

【行事】11/16(土) 導き観音護摩祈禱・茶釜供養会
所 葛城市當麻1263 ☎0745-48-2001
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
http://www.taimadera.org/



①本画「黒牡丹」(右)と初公開の水墨画「牡丹」(左) 写真:當麻寺中之坊



【寶山寺 Map a-2】獅子閣:10/12(土)～10/14(月・祝)、11/2(土)～11/4(月・振)

※拝観料や行事の内容・開催時間など、その他詳細は各社寺にお問合せください。 〻はチェックポイントを示しています。

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

金峯山寺

Map ④ c-2

①日本最大 秘仏本尊金剛藏王大権現 特別ご開帳 **重文**

②役行者霊蹟札所36ヶ寺出開帳

①10/20(日)～11/30(土) ②11/13(水)～11/17(日)

時間 8:30～16:30 (受付は～16:00)
拝観 大人1000円、中高生800円、小学生600円

大迫力の金剛藏王権現立像

山岳修験道の開祖・役行者が感得されたと伝わる日本最大秘仏・金剛藏王大権現三尊(重文)が特別公開されます。また、役行者ゆかりの近畿内36ヶ寺から、霊徳あたたかな尊像が金峯山寺蔵王堂で一堂に拝観できます。

[行事] 11/17(日) 役行者霊蹟札所36ヶ寺慶讃合同大護摩供、2020.2/3(月) 節分会 鬼火の祭典

所 吉野郡吉野町吉野山2498 ☎0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分 <http://www.kinpusen.or.jp/>



①秘仏金剛藏王権現像【中尊】(重文) 写真: 金峯山寺

石光寺

Map ④ a-1

彌勒如来秘仏(木造)、日本最古の石仏開帳

2020.1/1(水・祝)～1/31(金)

時間 9:00～16:30 (受付は～16:30)
拝観 中学生以上400円、小学生200円

日本最古の彌勒石仏が残る 中将姫ゆかりの古刹

信仰心の厚い中将姫が、蓮糸を五色に染めたという井戸「染の井」や「糸掛桜」が現存。染寺(そめでら)とも呼ばれます。白鳳時代(7世紀末)の彌勒石仏が特別公開されます。

■約200株、約40種類の寒牡丹(冬咲きの牡丹)が咲き誇ります

所 葛城市染野387 ☎0745-48-2031
行 ●近鉄二上神社口(にじょうじんじやぐち)駅から徒歩約13分 ●近鉄当麻寺駅から徒歩約20分 <http://sekkouji.or.jp/>



彌勒如来石仏 写真: 石光寺



寒牡丹 12月上旬～1月中旬

櫻本坊

Map ④ c-2

天武天皇御神像

11/9(土)～11/17(日)

時間 8:30～16:00
拝観 800円

神仏習合の象徴ともいえる 天武天皇の御神像を祀る

天武天皇が桜の吉夢を見て建てた古刹。役行者に縁のある山岳修行を行う神仏習合の修験道根本道場です。期間中、宝聚堂(宝物殿)特別ご開帳中。

[行事] 11/10(日) 天武天皇祭
2020.1/1(水・祝)・1/2(木) 修正会 新春護摩供、2020.2/3(月) 節分会

所 吉野郡吉野町吉野山1269 ☎0746-32-5011 行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「竹林院前」下車、徒歩すぐ(※バス本数少ない) ●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分 <https://sakuramotobou.or.jp/>



山門 写真: 櫻本坊

如意輪寺

Map ④ c-2

後醍醐天皇御霊殿

11/2(土)～11/18(月)

時間 9:00～16:00 (受付は～15:30)
拝観 大人500円、中高生200円、小学生100円

南朝の歴史を伝える後醍醐天皇の勅願寺

楠正行(くすのきまさつら)が出陣の際に、辞世の歌を刻んだ扉が残ります。後醍醐天皇御霊殿にて、後醍醐天皇御自作の木像を特別公開。後醍醐天皇の御生誕(11/2)には本堂にて法要を行い、鉢植えの菊花で境内を彩る「菊まつり」も開催されます。

[行事] 11/1(金)～11/22(金) 菊まつり
11/28(木) 難切不動尊大祭

所 吉野郡吉野町吉野山1024 ☎0746-32-3008
行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分(※バス本数少ない) ●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分 <http://www.nyoirinji.com/>



後醍醐天皇御自作の木像 写真: 如意輪寺



紅葉 10月下旬～11月下旬

長谷寺

西国三十三所草創1300年記念 Map ① a-1

①本尊大観音尊像(十一面観音菩薩立像)特別拝観

②秋季特別寺宝展(宗宝蔵) ① **重文** ② **重文など**

①②10/12(土)～12/1(日)

時間 本尊特別拝観 9:30～16:30 (受付は～16:00)
拝観 本尊特別拝観1000円 ※別途、入山料(中学生以上500円、小学生250円)必要

観音様の御足に触れて結縁を

「隠口(こもりく)の初瀬」と呼ばれる地にあり、花の御寺として知られます。西国三十三所観音霊場第8番札所。宗宝蔵では、仏画や武具などの寺宝が特別公開されます。

[行事] 2020.2/3(月) 大黒天祭・節分会
2020.2/8(土)～2/14(金) 修二会
※2/14(金) だだおし法要

所 桜井市初瀬731-1 ☎0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分 <http://www.hasedera.or.jp/>



①本尊・十一面観音菩薩立像(重文) 写真: 長谷寺



紅葉 10月下旬～12月中旬



寒牡丹 12月上旬～1月下旬

榮山寺

Map ④ a-2

①本尊・薬師如来坐像 **重文**

②八角円堂内陣装飾画特別拝観 **国宝など**

①②10/25(金)～11/23(土・祝)

時間 9:00～16:00
拝観 ①無料②400円(音声菩薩像書授与) ※①②別途入山料(高校生以上500円)必要

清楚で美しい天平時代の八角円堂

藤原不比等の長男・藤原智武麻呂が氏寺として創建。八角円堂(国宝)内陣の柱や天蓋には、天平時代の壁画(重文)[極彩色の仏画]が施され、天平建築の中でも法隆寺夢殿と並ぶ貴重な遺構となっています。

[行事] 11/23(土・祝) 榮山寺創建1300年記念法要

所 五條市小島町503 ☎0747-24-5557
行 ●JR五条駅から八木駅(南)行きバス「榮山寺口」下車、徒歩約10分(※バス本数少ない) ●JR五条駅から徒歩約25分またはタクシー約5分 <https://www.eisanji.com/>



①本尊・薬師如来坐像(重文) 写真: 榮山寺

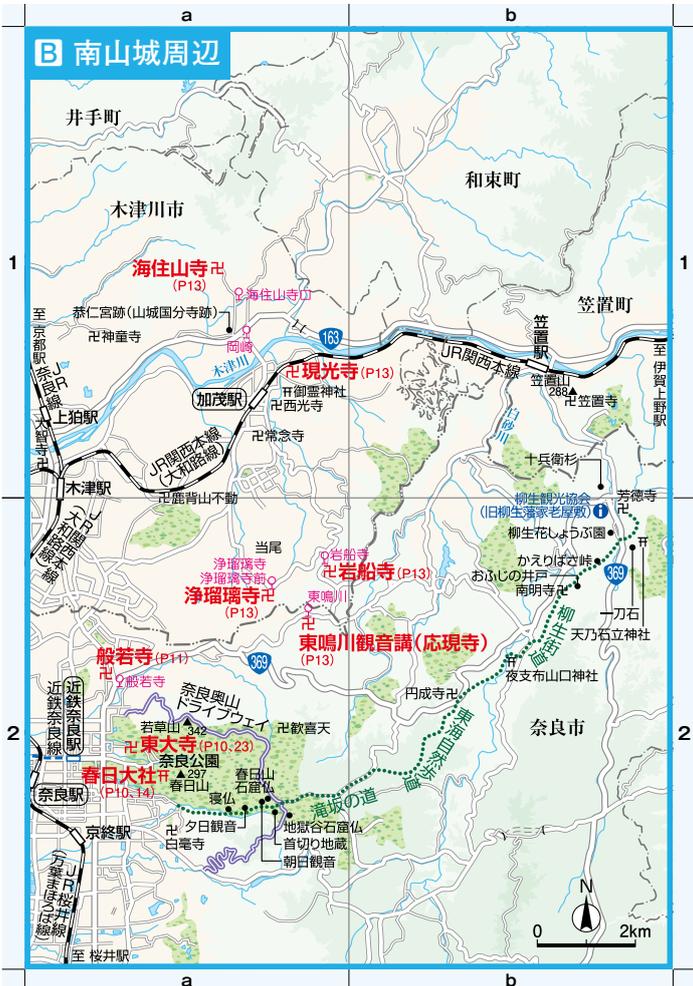
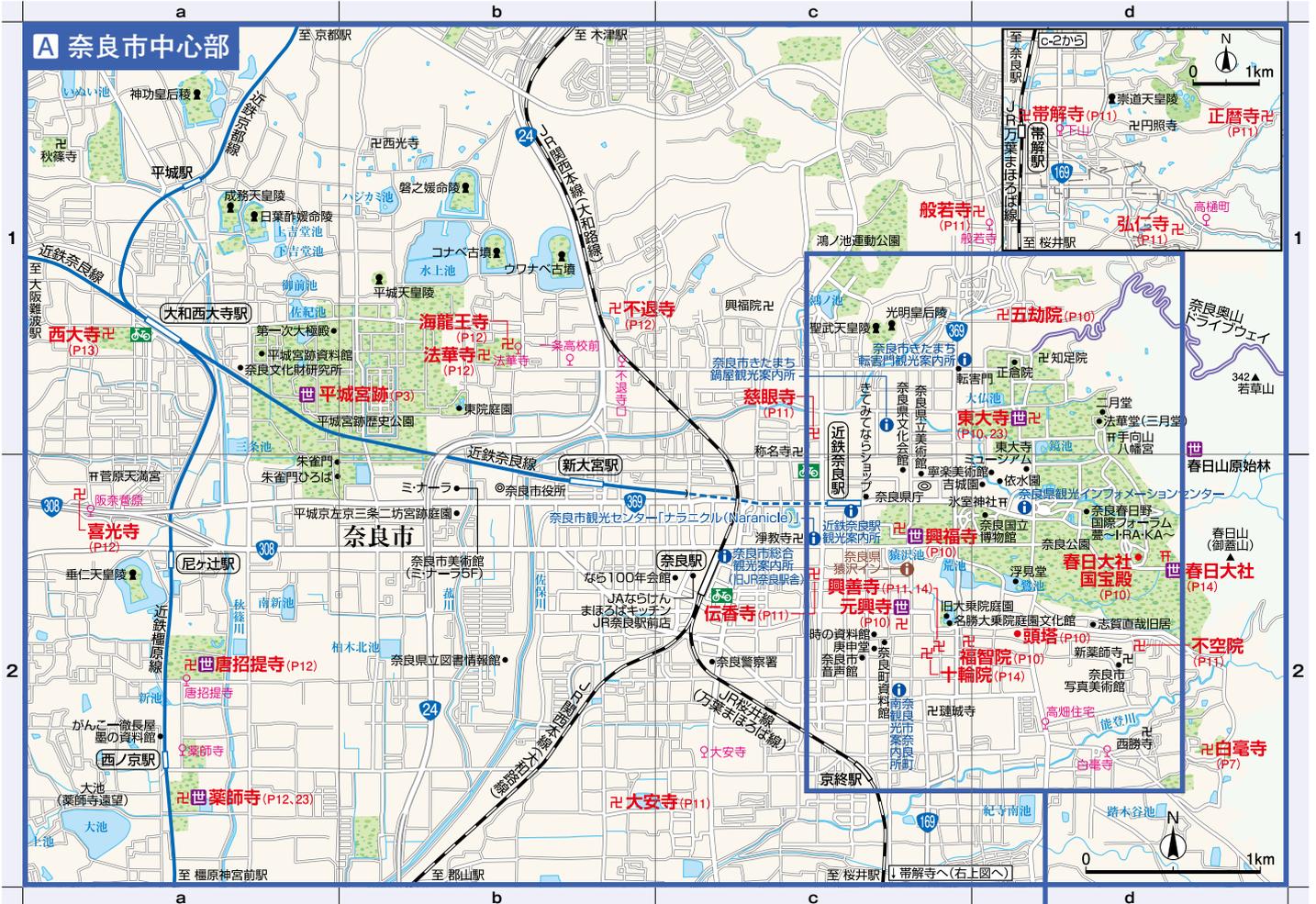


萩 9月～10月上旬

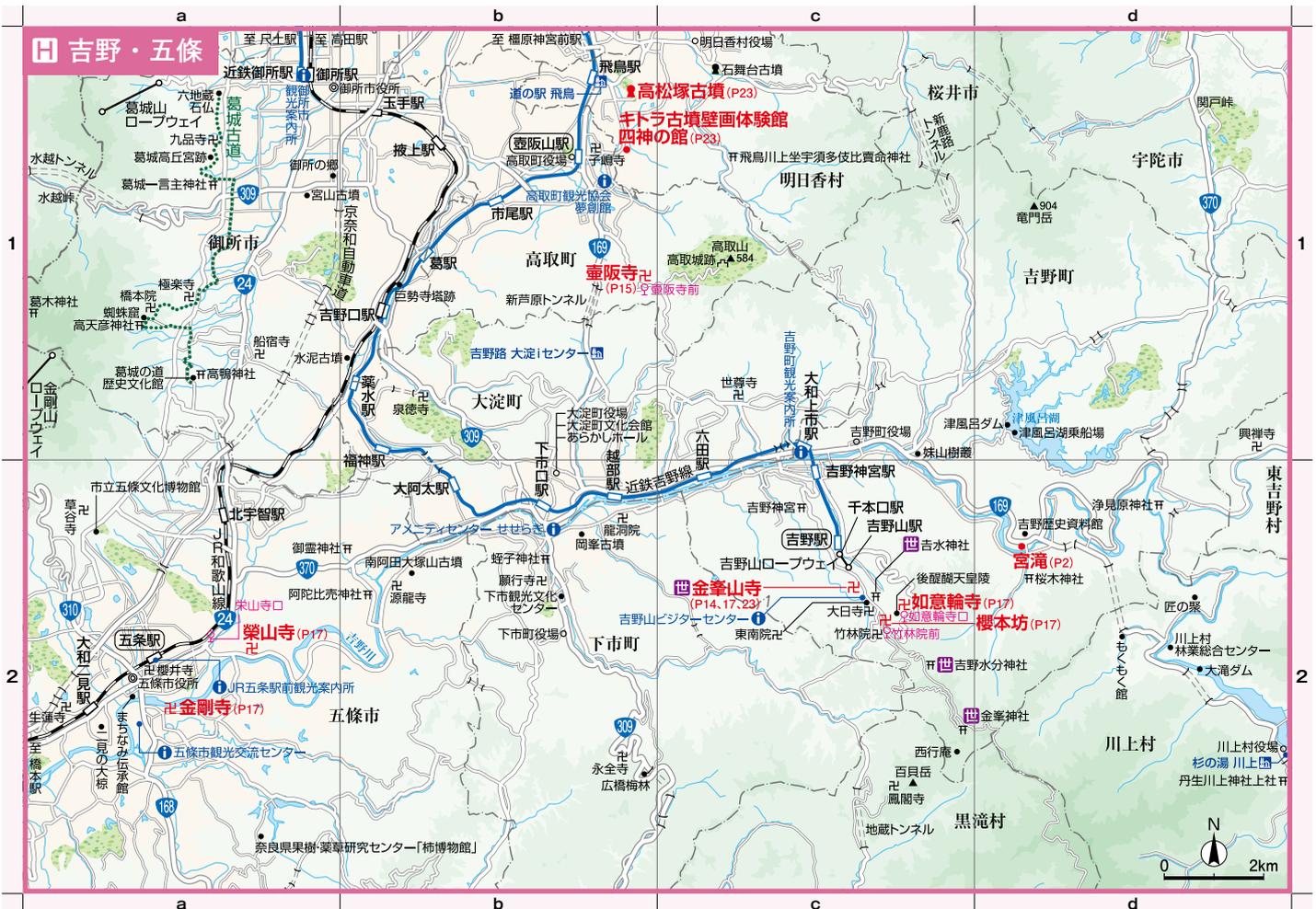


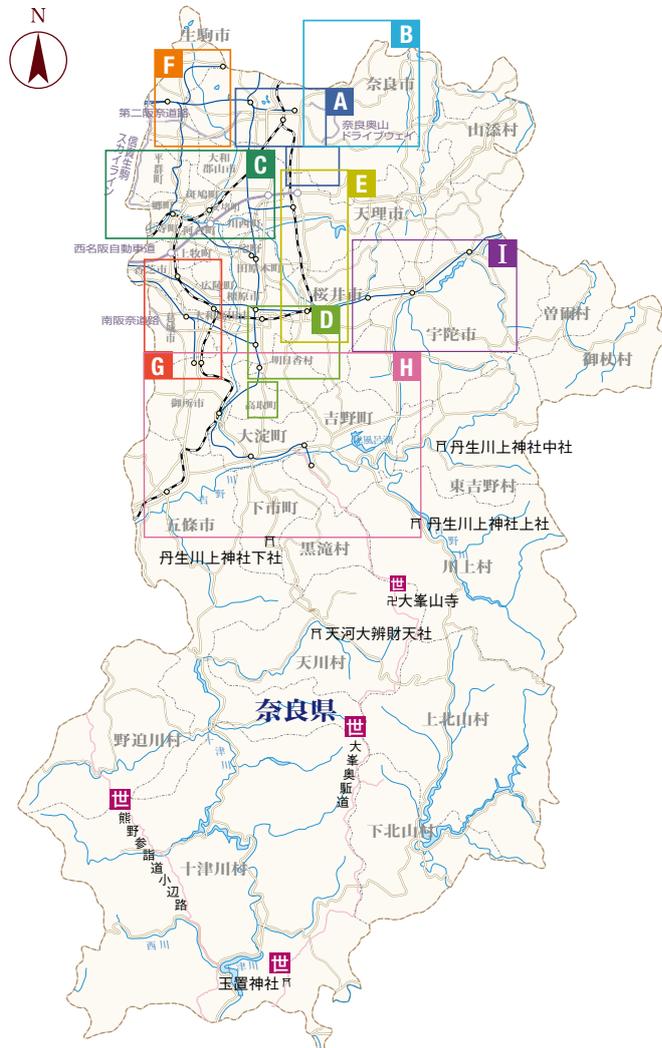
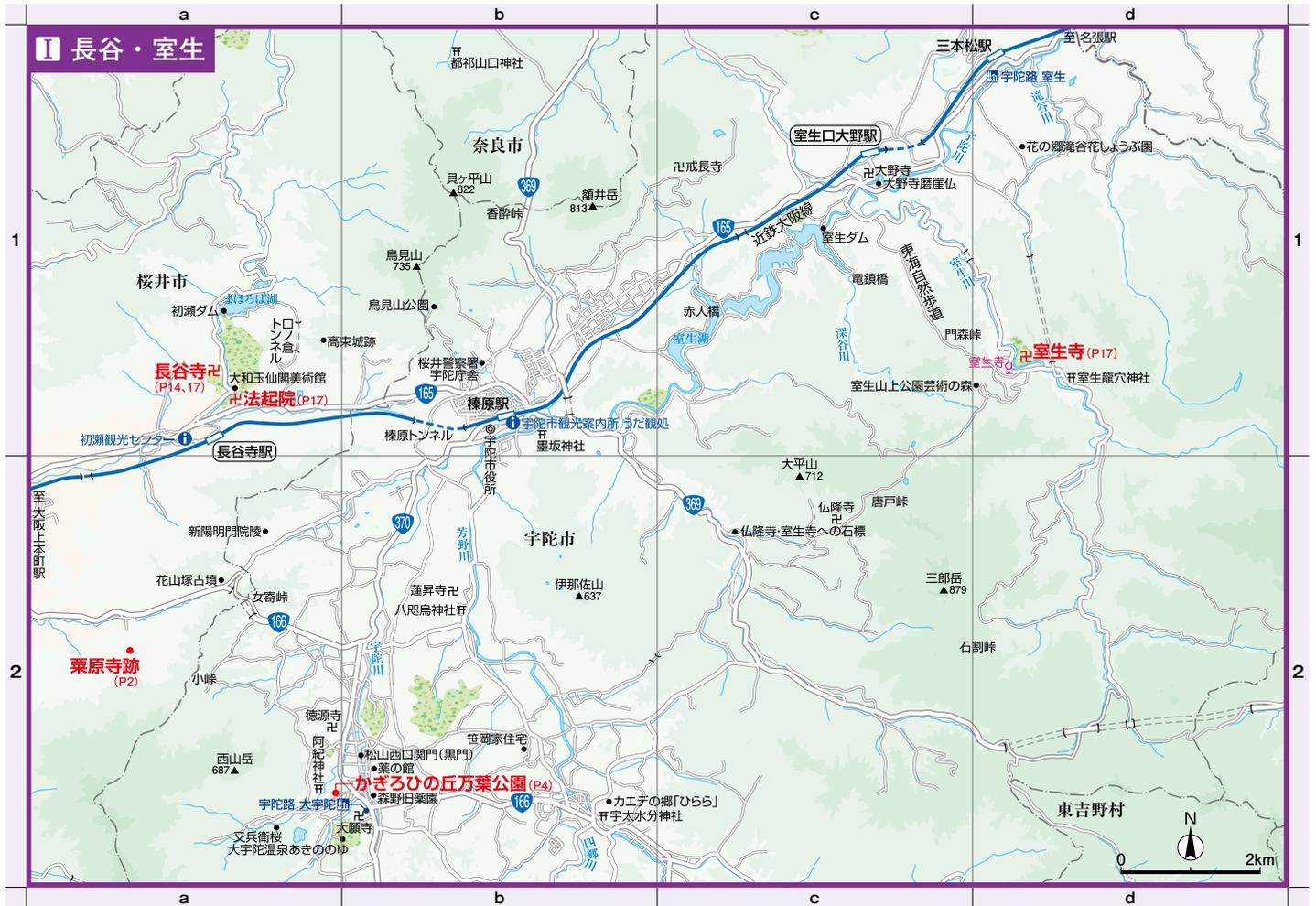
紅葉 11月中旬～12月上旬

【金剛寺 ④ a-2】 星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊: 2020.2/3(月) 【法起院 ① a-1】 はせ庚申 秘仏青面金剛像: 11/18(月)～11/24(日) 【室生寺 ① d-1】 国宝五重塔と紅葉ライトアップ: 11/9(土)・11/10(日)、11/16(土)・11/17(日)、11/22(金)～11/24(日)、11/29(金)～12/1(日)









- A** 奈良市中心部
- B** 南山城周辺
- C** 大和郡山・斑鳩・信貴
- D** 橿原・飛鳥・多武峯
- E** 山の辺の道・桜井
- F** 富雄・生駒
- G** 當麻・葛城
- H** 吉野・五條
- I** 長谷・室生

- JR線
- 近鉄線
- 自動車道路
- 主な国道
- 世** 世界遺産

エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月
A 奈良市中心部	春日大社 国宝殿	P10 A d-2	①神獣 -かわい、神の使いたち- (国宝など) ②最古の日本刀の世界 安綱・古伯書展 (国宝など)				9/7~12/13			
	元興寺	P10 A c-2	瓦仙人の世界 -考古学者・藤澤一夫コレクションから- (重文など)				10/26~11/14			
	興福寺	P10 A c-2	南円堂・北円堂特別開扉 (国宝など) 西国三十三所草創1300年記念				10/17~11/10			
	福智院	P10 A c-2	宝冠の十一面観音菩薩立像	10/17~10/23			11/1~11/7			3/17~3/23
	五劫院	P10 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像 (重文)					2/12~2/18		
	頭塔	P10 A d-2	史跡頭塔、浮彫石仏など (重文)				10/26~11/14			
	東大寺	P10 A d-1	①僧形八幡神坐像 (国宝)《勸進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像 (重文)《勸進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像 (重文)《公慶堂》 ②良弁僧正坐像 (国宝)《開山堂》、執金剛神立像 (国宝)《法華堂》、重源上人坐像 (国宝)、阿弥陀如来立像 (重文)、愛染明王坐像 (重文)《俊兼堂》				10/5 ※転書会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳			
	般若寺	P11 A d-1	白鳳秘仏寺宝特別公開 (重文など)				9/20~11/11			
	不空院	P11 A d-2	本尊・不空羼索観音菩薩坐像など (重文など)				10/17、10/26~11/14			
	大安寺	P11 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像 (重文) ②秘仏・馬頭観音菩薩立像 (重文)				10/1~11/30			3/1~3/31
	帯解寺	P11 A d-1	秘仏・秘宝特別公開 (重文など)				11/1~11/8			3/10~3/18
	正暦寺	P11 A d-1	秘仏・薬師如来倚像 (重文など)	11/3~12/1 ※本堂にて			12/22 ※瑠璃殿 (収蔵庫)にて			
	弘仁寺	P11 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像 ②唐草文三足双耳香炉 (奈良市指定文化財)				11/1~11/30			
	興善寺	P11 A c-2	①観経曼陀羅押観 ②涅槃図押観	9/20~9/26 ※要予約					3/17~3/23 ※要予約	
	慈眼寺	P11 A c-1	聖観世音菩薩				2/1~2/15 ※要予約		2/9 ※初午	3/4 ※この午
	伝香寺	P11 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏二尊像と地藏菩薩立像納り品							3/12
	海龍王寺	P12 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展 (重文など)				10/25~11/14			3/23~4/7
	法華寺	P12 A b-1	①十一面観音菩薩立像 (国宝) ②絹本着色阿弥陀三尊および童子像 (慈光殿) (国宝など)				10/25~11/14			3/20~4/7
	不退寺	P12 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展				10/1~11/30			3/1~5/31
	喜光寺	P12 A a-2	弁天堂神影 宇賀神 (秘仏)							1/1~1/15
業師寺	P12 A a-2	①西塔初層内陣 釈迦四相像 特別公開 (重文など) ②食堂特別公開 ③玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画展 特別公開 ④吉祥天女画像特別公開 (国宝・平成の吉祥天)		9/16~11/30				1/1~1/8	3/1~6/30	
				9/16~11/30				1/1~1/8	3/1~6/30	
				9/16~11/30				1/1~1/8	3/1~6/30	
				1/1~1/3 [国宝]、1/4~1/15 [平成の吉祥天]				1/1~1/8	3/1~6/30	
唐招提寺	P12 A a-2	金亀舍利塔 (国宝)、釈迦如来立像 (重文) など (礼堂)				10/21~10/23				
西大寺	P13 A a-1	愛染明王坐像 (愛染堂)、聚宝館特別公開 (重文など)				10/25~11/15			1/15~2/4	
東鳴川観音講 (応現寺)	P13 B a-2	不空羼索観音菩薩坐像 (重文)				毎月第1日曜日				
海住山寺	P13 B a-1	五重塔特別開扉、寺宝特別公開 (国宝など)				10/26~11/10			※荒天時は塔開扉中止の場合あり	
浄瑠璃寺	P13 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像 (重文) ②三重塔初層開扉 (国宝)・薬師如来坐像 (重文) ※ただし好天の日に限る ③大日如来坐像など (灌頂堂)	毎月8日			10/1~11/30			1/1~1/15	
						10/26~11/4			1/1~1/3、1/8~1/10	
									1/8~1/10	
岩船寺	P13 B a-2	①秘宝秘仏特別公開 (木津川市重要文化財など) ②三重塔初層特別開扉 (重文)				10/1~11/30			10・11月の毎週土日祝 ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり	
現光寺	P13 B a-1	本尊・十一面観音坐像 (重文)				10/27、11/2~11/4			~11/10	
松尾寺	P13 C c-1	①秋の寺宝展 (舎人親王像など) (重文など) ②秘仏本尊・厄除観音 (厄除千手千眼観世音菩薩立像)				11/3				
						10/26~11/4				
中宮寺	P14 C c-2	中宮新殿「鳩和殿」演野年宏制作「聖徳太子絵伝」四季図大壁画				11/1~11/7				
法輪寺	P14 C c-2	秋季特別展「江戸期の法輪寺」 (重文など)				11/1~11/7				
法隆寺	P14 C c-2	①法隆寺秘宝展 (国宝など) ②夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 (国宝など) ③上御堂 (釈迦三尊像) (国宝など)				9/22~11/30			3/20~5/31	
						10/22~11/22				
朝護孫子寺	P14 C a-2	①信貴山縁起絵巻特別公開「尼公の巻」 (国宝) ②毘沙門天王 (中秘仏)				10/26~11/10			1/1~1/13	2/1~2/29
吉田寺	P14 C c-2	多宝塔 (重文) 初層、大日如来坐像	9/1 ※放生会	9/2 ※追悼会		11/1~11/4				
慈光院	P14 C c-1	本堂天井鳴き龍							1/1~1/3	
D 橿原飛鳥多武峯	おふさ観音	P15 D a-1	秘宝・生き人形				10/19~11/30			
	橋寺	P15 D a-2	聖倉殿 (収蔵庫) 特別公開 (重文など)				10/5~11/4			
	談山神社	P15 D b-2	①秋の社宝特別展「ザ・カマタリ」 (重文など) ②新春特別公開				10/13~12/8			1/1~2/29 (予定)
	岡寺	P15 D b-2	①本堂内々陣お扉特別開扉 (重文) 西国三十三所草創1300年記念 ②三重塔初層壁画扉絵特別公開				10/20			10/12~12/1
聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンダラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天				11/1~11/30			1/1~1/3	
						10/1~12/18				
重阪寺 (南法華寺)	P15 D a-2	①大眼鏡奉納 ②重阪観音お身拭い特別結縁参拝 ③納め観音 秘仏・子鳥荒神像				10/12~12/1			12/18	
E 山の辺の道桜井	安倍文殊院	P16 E a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展 (国宝など)				秋:9/1~11/30、冬:12/1~2/29			
	長岳寺	P16 E a-1	大地獄絵開帳				10/23~11/30			
F 富雄生駒	霊山寺	P16 E b-2	①薬師三尊像、秋蕾薇と秘仏宝物展 (重文) ②三重塔初層特別開扉 (重文)				10/23~11/10			1/1~1/3 ※正月は薬師三尊像のみ
	寶山寺	P16 E a-2	獅子閣 (重文)	10/12~10/14			11/3			11/2~11/4
G 當麻葛城	當麻寺西南院	P16 G a-1	西南院本堂特別開帳				11/22~12/1			
	當麻寺 中之坊	P16 G a-1	①秋の寺宝展「大原の画仙」小松均 没30年特別展示 ②布袋尊百童子屏風				10/10~11/30			1/1~2/29
	當麻寺 奥院	P16 G a-1	①薄き観音 (平安時代・重要美術品) ②綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 ③大方丈 襖絵特別公開				毎月16日 ※祈願会参加者			11/1~11/10
	石光寺	P17 G a-1	①本尊・法然上人坐像 (重文など) ②八角円堂内陣装飾画特別拝観 (国宝など)				11/16~12/1			2/24
H 吉野五條	金峯山寺	P17 H c-2	①日本最大 秘仏本尊金剛藏王大権現 特別公開 (重文) ②役行者靈蹟札所36ヶ寺出開帳				10/20~11/30			11/13~11/17
	如意輪寺	P17 H c-2	後醍醐天皇御霊殿				11/2~11/18			11/9~11/17
	櫻本坊	P17 H c-2	天武天皇御神像				10/25~11/23			10/25~11/23
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像 (重文) ②八角円堂内陣装飾画特別拝観 (国宝など)				10/25~11/23			2/3
I 長谷室生	金剛寺	P17 H a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊							2/3
	長谷寺	P17 I a-1	①本尊大観音尊像 (十一面観音菩薩立像) 特別拝観 (重文) 西国三十三所草創1300年記念 ②秋季特別寺宝展 (宗宝蔵) (重文など)				10/12~12/1			10/12~12/1
	法起院	P17 I a-1	はせ庚申 秘仏青面金剛像				11/18~11/24			
室生寺	P17 I d-1	国宝五重塔と紅葉ライトアップ	11/9-10、11/16-17			11/22~11/24、11/29~12/1				



奈良うまし冬めぐり

冬だけのとっておきの奈良へ

※行事等により催行中止になる場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催日の10日前に中止とする場合があります。

薬師寺(やくしじ)

Map P18 A a-2 奈良市

僧侶と巡る白鳳伽藍、玄奘三蔵院伽藍

この時期は通常非公開の玄奘三蔵院伽藍を含め、僧侶のご案内のもと、特別にご参拝の皆様と一緒に境内を巡ります。

【開催日】12/21(土)、12/22(日)、1/25(土)、1/26(日)、2/22(土)、2/23(日)、2/24(月・振)

13:00～(所要時間:約90分)

【参加費】3,000円

【最少催行人員】15名



金堂

石上神宮(いそのかみじんぐう)

Map P19 B a-1 天理市

国宝の拝殿にて特別参拝と禁足地の特別拝観

通常昇殿できない拝殿(国宝)で参拝後、大神様の鎮座地である禁足地を特別に外側から拝観。その後、楼門(重文)や出雲建雄神社拝殿(国宝)等を神職がご案内します。

【開催日】12/7(土)、14(土)、15(日)午後のみ、21(土)、22(日)、1/11(土)、13(月・祝)、18(土)、19(日)、25(土)、26(日)、2/8(土)、9(日)、15(土)午後のみ、16(日)、22(土)、23(日・祝)、29(土)、3/7(土)、8(日)、14(土)、15(日)午後のみ、21(土)午後のみ、22(日)、28(土)午後のみ、29(日) 10:00～、13:00～(所要時間:約60分)

【参加費】1,500円 【最少催行人員】1名



拝殿(国宝)

當麻寺奥院(たいまであおくのいん)

Map P20 G a-1 葛城市

綴織當麻曼陀羅絵説きと国宝・重文 當麻寺伽藍巡り

奥院本綴織當麻曼陀羅を特別公開。1250年前の超絶技法で再現された唯一の写本を用いて、僧侶によるわかりやすい絵説きを拝聴。その後、境内の国宝や重要文化財を僧侶がご案内します。

【開催日】1/11(土)、1/12(日)、1/13(月・祝)、1/25(土)、1/26(日)

13:30～(所要時間:約100分)

【参加費】大人1,500円、小学生750円 【最少催行人員】5名



綴織當麻曼陀羅(部分)

ホトケ女子と巡る『ウラ奈良』さんぽ～きたまちから裏東大寺編～

Map P18 A d-1 奈良市

楽しい裏路地巡りの先に待っているのは世界遺産の社寺。奈良が初めての方も、奈良常連さんも、ひと味違う奈良の魅力に触れてみませんか? ★昔ながらの商店から近年オープンの人気店まで、地元民が愛する名店盛り沢山のきたまちエリア★東大寺は裏が面白い! 東大寺創建の歴史や美しい仏様が残る裏東大寺へ★東大寺の中に神社?! 切っても切れない八幡様と東大寺の関係のヒミツ。

【開催日】12/16(月)※良弁忌 3/1(日)※修二会 10:00～(所要時間:約135分)

【参加費】大人5,000円、高校生以下3,000円 【最少催行人員】3名



東大寺二月堂裏参道とガイドの安達えみ氏

慈光院(じこういん)

Map P19 C c-1 大和郡山市

静寂に包まれる枯山水庭園を眺めながらゆっくりと過ごす～慈光院でいただく素敵なランチ～

書院(重文)でお抹茶を楽しみながら、大和三名園と賞される美しい庭園や茶道、赤膚焼の話の拝聴。精進料理の昼食など、禅のころを感じていただけます。

【開催日】12/14(土)、15(日)、16(月):冬至に食べる料理 1/24(金)、25(土)、26(日):旬の大根で無病息災を願う料理 2/8(土)、9(日)、10(月):大豆を中心にした料理 3/6(金)、7(土)、8(日):桃の節句にちなんだ料理 11:30～(所要時間:約90分)

【参加費】6,500円 【最少催行人員】5名



書院(重文)

檀原神宮(かしはらじんぐう)

Map P19 D a-1 檀原市

畝傍山を背景に佇む内拝殿への長い廻廊を進み行く特別昇殿参拝

通常昇殿できない本殿(元京都御所の内侍・重文)間近での特別昇殿参拝。内拝殿にて参拝後、文華殿(重文)、宝物館を神職がご案内します。※参拝記念品付き

【開催日】12/1(日)、6(金)、7(土)、8(日)、1/17(金)、24(金)、25(土)、26(日)、31(金)、2/2(日)、14(金)、15(土)、16(日)、21(金)、22(土)、28(金)、29(土)、3/1(日)、6(金)、13(金)、15(日) 13:00～(所要時間:約90分)

【参加費】2,000円 【最少催行人員】2名



大和三山の畝傍山を背景に両脇に長い廻廊を連れた内拝殿

金峯山寺(きんぷせんじ)

Map P20 H c-2 吉野町

修験僧侶(山伏)と金峯山寺内諸堂一日ミニ修行「護摩木deストラップ」付き

修験僧侶(山伏)と各諸堂を勤行し、護摩供に参拝、法話を拝聴します。昼食は精進料理で宿坊にて食事作法をしていただき、修験僧侶(山伏)との茶話会(番茶と和菓子付)で修行を締めくくります。

【開催日】2/22(土)、2/29(土) 10:30～(所要時間:約300分)

【参加費】5,000円 【最少催行人員】10名



長日祈祷 護摩供

2つの極彩色壁画古墳を探访

Map P19 B a-2 明日香村

高松塚古墳(国宝)とキトラ古墳(国宝)巡り

高松塚古墳の全貌をわかりやすく紹介した「高松塚壁画館」と、体感型施設「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」を学芸員や歴史専門員が解説する特別プラン。国営飛鳥歴史公園等、のどかな里山道を観光ガイドと楽しく歩きながら2つの古墳を比較し、発掘秘話や渡来文化も学べます。(約2km程の徒歩コース)

【開催日】12月～3月の各水曜日(年末年始を除く) 13:30～(所要時間:150分)

【参加費】2,500円 【最少催行人員】2名



キトラ古墳壁画体験館 四神の館

お申込み・お問合わせ

ご参加には事前にお申し込みが必要です。(開催日の4日前までに受付終了)

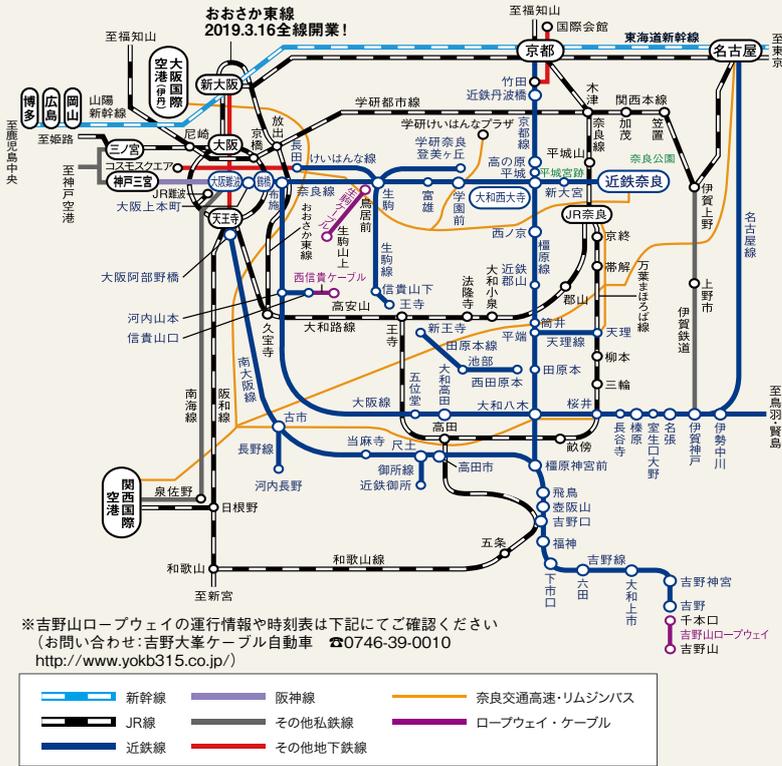
TEL: 0742-81-8680 9:00～17:00(土日祝及び年末年始除く) うまし奈良めぐり実行委員会事務局

詳しくは、

※10月よりWEBサイトオープン予定

他にも特別企画が盛りたくさん!

奈良アクセスガイド



交通のお問い合わせ

- JR西日本お客様センター ☎0570-00-2486 (京阪神地区)
- 近鉄電車テレフォンセンター ☎050-3536-3957
- 奈良交通お客様サービスセンター ☎0742-20-3100
- 奈良交通総合予約センター (高速・リムジンバス等) ☎0742-22-5110
- 奈良県タクシー協会 ☎0743-57-0073



JR西日本 奈良へのおトクなきっぷ情報

e5489 JR西日本ネット予約

JRのきっぷは駅に行かずにネットで予約。
 [e5489が、ますますペナリに。]

- ますます選べるおトクなきっぷ!
- チケットレスサービスがさらにペナリに!
- 見やすい画面でスムーズ予約!
- 予約時間が23:30まで延長!
- 女性専用席の予約が可能に!
- コンビニなどで現金払いが可能に!

さらにJ-WESTカードにご入会いただくと、
eきっぷなど会員限定の
割引きっぷをご利用いただけます!

e5489でご購入のお客様は、「奈良満喫フリーきっぷ」をお買い求めいただけます。なお、「奈良満喫フリーきっぷ」には大阪・京都・奈良の自由周遊区間が設定されておりますので、「e5489」の乗車券は京都駅または新大阪駅までお求めください。

列車時刻やおトクなきっぷなどのご利用条件等、詳しくはJR西日本の主な駅のパンフレットまたは「JRおでかけネット」[検索](#)でご確認ください。

時刻・運賃・商品情報などのお問い合わせは
JR西日本お客様センター TEL.0570-00-2486
 京阪神地区 (6:00~23:00) 年中無休 (固定電話からは市内通話料でご利用可能です。)

近鉄のおトクな情報

わたしは、奈良派。

知っているつもりで訪ねると、知らない物語がいっぱい。奈良の旬なおでかけ情報をお届けします。

公式Instagram
 @watashiha_naraha_official

公式Webサイト

お得なきっぷ情報 近鉄電車往復乗車券とフリー区間の近鉄電車・奈良交通バスが自由に乗降できるきっぷを割引セット。

近鉄電車テレフォンセンター 050-3536-3957 / 8:00-21:00 / 年中無休

近鉄 きっぷ情報 [検索](#) **近鉄**

読者プレゼント

皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。

アンケートは、こちら
<https://questant.jp/q/XG84IXP9>

◆ 大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会 ◆

奈良の8か寺(法華寺・西大寺・海龍王寺・大安寺・法輪寺・聖林寺・長谷寺・室生寺)の十一面観音菩薩を巡拝する霊場会です。第3回目の法話会を西大寺で開催いたします。法話会にご参加いただき、十一面観音菩薩の慈悲の心を感じてください。

【日時】 10/17 (木) 13:00~受付
 14:00~8か寺による法要 14:30~15:30 法話 15:50~16:30 大茶盛

【講師】 帝塚山大学客員教授/半蔵門ミュージアム館長 西山厚先生

【場所】 西大寺(法要・法話会:四王堂、大茶盛:光明殿)

【参加費】 1,800円(四王堂拝観料、大茶盛を含む) ※本堂、愛染堂の拝観料は別途必要

【定員】 60名(先着順)

【申込方法】 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号を明記の上、9/30(月)までに右記宛先までお申込みください。【宛先】〒631-0825 奈良市西大寺芝町1-1-5 西大寺「大和路秀麗八十八面観音巡礼の法話会」係宛

※復路(返信はがき)にご自身の住所・宛名を記載漏れのないようお書きください。受付完了のお知らせは返信はがきにていたします。返信はがきが受講票となります。申込人数は、はがき1枚につき2人までとなります。お申込みは**往復はがきのみ**とさせていただきます。

十一面観音立像(重文) 写真:飛鳥園

大和路秀麗 八十八面観音巡礼

祈りの回廊 <http://meguru.nara-kankou.or.jp/> 奈良県観光[公式サイト]あをによし なら旅ネット <http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/>

奈良県観光局 観光プロモーション課 〒630-8501 奈良市登大路町30番地 TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510